◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.421　（2023年度No.49）**　 　2023/12/1

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆

**京都南座の　看板　師走です**

**公開講演会は無事に終了いたしました　ありがとうございました**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係) | **1** |
| 1. [**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **2-9** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **9-10** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **10-19** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **19-22** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **22-54** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

11月24日　 かわら版420号を発行・かわら版ニュース＆トピックス387号を発行

11月28日　 かわら版ニュース＆トピックス388号を発行

11月28日　 ニュースレター244号を発行

12月01日　 かわら版421号を発行・かわら版ニュース＆トピックス389号を発行

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**★***Link***2022年3月31日　国立国際医療研究センター　COVIREGI-JPダッシュボード**

COVID-19 レジストリ研究　“ダッシュボード” 本データの注意点  
<https://www.ncgm.go.jp/pressrelease/2021/20220331.html>  
ダッシュボード  
<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiNGJlMmZmNDctMDk0NC00MjkwLTk0NDgtYmM1MGFkYjNhN2RiIiwidCI6IjZmOGFmOWFkLTU2NDctNGQ2My1hYjIxLWRiODk0NTM3MzJmNyJ9>  
NCGM COVID-19 治療フローチャート（中等症以上成人) <https://www.ncgm.go.jp/covid19/pdf/20220322NCGM_COVID-19_Flow_chart_v5.pdf>

**★***Link***新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料（発生状況、検疫事例）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00432.html>

**■***NEW***梅毒　2023/11/28**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/syphilis.html>

**梅毒（ばいどく）が拡大しています**

**・梅毒は、主に、性的接触により、口や精機などの粘膜や皮膚から感染します。**

**・多数の相手と性的接触を持つと感染する（または感染させる）リスクが高まります。**

**・コンドームの適切な使用により感染リスクを減らすことができます。**

**・梅毒は、早期に発見することで、適切な治療により治癒が可能です。**

**・症状があるときや、不安なときは、早めに近くの医療機関や保健所で検査を受けましょう。**

　緊急セミナー動画　<http://jssti.umin.jp/seminar.html>

主催：一般社団法人 日本性感染症学会

　後援：厚生労働省 等

　対象：医師等

　＜緊急セミナー＞

　　「梅毒を知る～梅毒の急増を止めるために～」

**梅毒とは**

梅毒トレポネーマという病原体により引き起こされる感染症で、主にセックスなどの性的接触により、口や性器などの粘膜や皮膚から感染します。オーラルセックス（口腔性交）やアナルセックス（肛門性交）などでも感染します。また、一度治っても再び感染することがあります。

**梅毒に感染すると**

梅毒に感染すると、性器や口の中に小豆から指先くらいのしこりができたり、痛み、かゆみのない発疹が手のひらや体中に広がることがあります。また、これらの症状が消えても感染力が残っているのが特徴です。治療をしないまま放置していると、数年から数十年の間に心臓や血管、脳などの複数の臓器に病変が生じ、時には死にいたることもあります。

**妊娠中の梅毒感染は特に危険です**

妊娠中の梅毒感染は特に危険です。妊娠している人が梅毒に感染すると、母親だけでなく胎盤を通じて胎児にも感染し、死産や早産になったり、生まれてくるこどもの神経や骨などに異常をきたすことがあります。生まれたときに症状がなくても、遅れて症状が出ることもあります。

**梅毒の発生状況について**

男性20代～50代、女性は20代が突出して増えています。

日本では1948年から梅毒の発生について報告の制度\*がありますが、報告数は、年間約11,000人が報告された1967年以降、減少していました。ところが2011年頃から報告数は再び増加傾向となりました。2019年から2020年に一旦減少したものの、2021年以降大きく増加しています。2022年には10月下旬の時点で10,000例を超える報告があり、注意が必要です。

\*1999年に制度の変更がありました。

**発生動向調査**

性感染症の中で、五類感染症である梅毒、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症について感染症発生動向調査を実施し、報告を集計したものを公表しています（IDWR）。

梅毒は全数調査、他の4疾患は定点調査です。

IDWR（感染症発生動向調査　週報）<https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

※ 月ごとの性感染症の発生動向が、毎月1回（翌月中旬頃の号に）掲載されます。

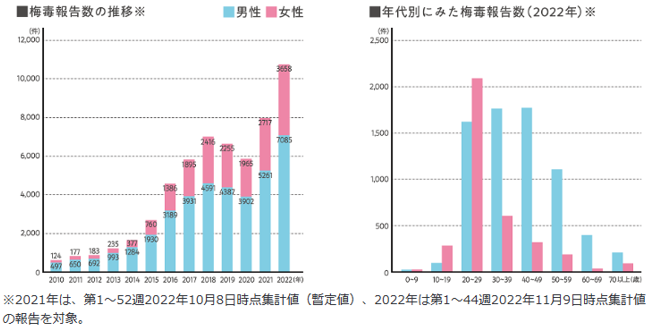
性感染症報告数（年間報告数）

<https://www.mhlw.go.jp/topics/2005/04/tp0411-1.html>

**■***NEW***性感染症　2023/11/28**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/index.html>

**梅毒が拡大しています**



<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/syphilis.html>

　感染症・予防接種相談窓口

子宮頸がん予防（ＨＰＶ）ワクチンを含む予防接種、インフルエンザ、性感染症、その他感染症全般について、相談にお応えします。

※行政に関するご意見・ご質問は受け付けておりません。

※本相談窓口は、厚生労働省が業務委託している外部の民間会社により運営されています。

※オペレーターへの暴言、性的発言、セクハラ等の入電はご遠慮ください。他の入電者様の対応に支障が生じております。

●電話番号：0120-331-453　※令和５年４月３日から電話番号が変わりました。

●受付時間：午前9時～午後5時（土日祝日、年末年始を除く）

**性感染症とは**

疾病別情報

各疾患について詳しく説明している国立感染症研究所のページにリンクします。

性器クラミジア感染症

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/sa/chlamydia-std/392-encyclopedia/423-chlamydia-std-intro.html>

性器ヘルペスウイルス感染症

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/sa/genital-hsv/392-encyclopedia/424-genital-hsv-intro.html>

尖圭コンジローマ

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/428-condyloma-intro.html>

梅毒

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/syphilis/392-encyclopedia/465-syphilis-info.html>

淋菌感染症

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ra/gonorrhea/392-encyclopedia/527-gonorrhea.html>

HTLV-1感染症

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou29/>

**Q&A**

HPVワクチンに関するQ&A　（最終更新日2023年４月1日）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_qa.html>

梅毒に関するQ&A　（最終更新日2022年11月22日）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/syphilis_qa.html>

オーラルセックスによる性感染症に関するQ&A　（最終更新日2022年11月24日）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/oralsex_qa.html>

知っておきたい 性感染症の正しい知識！（最終更新日2023年９月1日）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou_kouhou/kouhou_shuppan/magazine/202308_00001.html>

**啓発ツール**

性感染症は性的接触を介して誰もが感染する可能性があります。

感染しても無症状の場合もあり、治療に結びつかないだけでなく、自分の知らない間に他の人に感染させてしまうことがあります。

厚生労働省では、性感染症についての正しい知識と理解につなげるために、ポスターやリーフレット等を作成し、正確でわかりやすい情報発信に努め、普及啓発を進めてまいります。適宜ダウンロードしてご活用下さい。

**リーフレット**

リーフレット・ポスターは、ダウンロードして適宜ご使用可能です。

※性感染症の予防啓発の目的以外で無断で使用（改変も含む）を禁じます。

\*いま、梅毒が急拡大していることをご存じですか？　A４判）

（令和５年度作成）<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001171886.pdf>

\*いま、梅毒が拡大しています（A４判）

（令和５年度作成）<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001171812.pdf>

以下省略

**■***NEW***スウェーデンから輸入される牛肉等に関する措置の見直し案に関する御意見の募集について　2023/11/22**

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495230250&Mode=0>

　受付開始日時 2023年11月22日0時0分

受付締切日時 2023年12月21日23時59分

**■第22回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会の開催について　2023/11/24**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36547.html>

**■危険ドラッグの成分１物質を新たに指定薬物に指定**

**～指定薬物等を定める省令を公布しました～　2023/11/22**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000212475_00050.html>

厚生労働省は、本日付けで危険ドラッグに含まれる別紙の１物質を新たに「指定薬物」（※１）として指定する省令（※２）を公布し、令和５年12月２日に施行することとしましたので、お知らせします。

新たに指定された１物質は、昨日（11月21日）の薬事・食品衛生審議会薬事分科会指定薬物部会において、指定薬物とすることが適当とされた物質であるため、早急に指定（※３）を行うこととなります。

施行後は、この物質とこの物質を含む製品について、医療等の用途以外の目的での製造、輸入、販売、所持、使用等が禁止されます。

　この物質は、以下の参考情報のとおり、国内の店舗やインターネットで販売されていることから、消費者の皆様には、購入・使用することがないよう注意喚起いたします。

　なお、海外でも流通している物質であり、厚生労働省は危険ドラッグが海外から輸入され、乱用されることのないよう水際（輸入）対策を強化していく方針です。

今後、インターネットによる販売も含め、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく無承認無許可医薬品としての指導取締りも強化していく方針です。

危険ドラッグについては、事業者の皆様には、販売、購入、輸入等をしないよう強く警告いたします。

（参考情報）

　令和５年９月以降、新たに指定された１物質を含むことが疑われる製品を摂取したとされた後に救急搬送された事例が少なくとも全国で８件報告されています。地方厚生局麻薬取締部は警察や自治体と連携して、令和５年11月20日までに、健康被害に遭った方々が摂取したとされる製品を製造・販売した販売店舗等８カ所に対して、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく立入検査（※４）と該当製品に対する検査命令・販売等停止命令（※５）を行いました。

※１　厚生労働大臣は、中枢神経系への作用を有する蓋然性が高く、人の身体に使用された場合に保健衛生上の危害が発生するおそれのある物を「指定薬物」として指定する（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第２条第15項）。指定薬物は、製造、輸入、販売、所持、使用等が禁止されている（罰則：３年以下の懲役または300万円以下の罰金。業としての場合は５年以下の懲役または500万円以下の罰金）。

※２　医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令の一部を改正する省令（令和５年厚生労働省令第143号）

※３　部会において指定薬物とすることが適当とされた物質については、使用による健康被害等を防止するため、パブリックコメントの手続きを省略し、指定薬物として早急に指定することとしている。

※４　医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第76条の８第１項

※５　医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第76条の６第１項及び第２項

別紙　<https://www.mhlw.go.jp/content/11126000/001169493.pdf>

新たに指定された指定薬物の名称

［物質１］ 省令名：３－ヘキシル－６ａ，７，８，９，１０，１０ａ－ヘキサヒドロ－６，６，９－トリメチル－６Ｈ－ジベンゾ［ｂ，ｄ］ピラン－１－オール

通称等：HHCH、HHC-H、Hexahydrocannabihexol

**■***NEW***原子力災害対策特別措置法第20条第２項の規定に基づく食品の出荷制限等の解除　2023/11/28**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36564.html>

　　本日、原子力災害対策本部は、原子力災害対策特別措置法に基づき出荷制限又は摂取制限（以下「出荷制限等」という。）が指示されていた以下について、解除を指示しました。

（１）福島県（出荷制限等が行われている市町村に限る。）で採取された野生のきのこ類（ナメコ、ナラタケ、ムキタケに限る。）（県の定める出荷・検査方針（※）に基づき管理されるものに限る。）

（２）栃木県さくら市で産出されたクリタケ（露地において原木を用いて栽培されたものに限る。）（県の定める管理計画に基づき管理されるものに限る。）

（※）非破壊式放射能測定装置を用いて、スクリーニング検査を行い、スクリーニングレベル以下のものは出荷等が可能。

１　福島県に対して指示されていた出荷制限等のうち、県内（出荷制限等が行われている市町村に限る。）において採取された野生のきのこ類（ナメコ、ナラタケ、ムキタケに限る。）（県の定める出荷・検査方針に基づき管理されるものに限る。）について、本日、出荷制限等が解除されました。

（１）本日付けの原子力災害対策本部から福島県への指示は、別添１のとおりです。

（２）福島県の申請は、別添２のとおりです。

２　栃木県に対して指示されていた出荷制限のうち、さくら市で産出されたクリタケ（露地において原木を用いて栽培されたものに限る。）（県の定める管理計画に基づき管理されるものに限る。）について、本日、出荷制限が解除されました。

（１）本日付けの原子力災害対策本部から栃木県への指示は、別添３のとおりです。

（２）栃木県の申請は、別添４のとおりです。

３　なお、原子力災害対策特別措置法の規定に基づく食品の出荷制限及び摂取制限の指示の一覧は、参考資料のとおりです。

【参考１】 原子力災害対策特別措置法 －抄－

（原子力災害対策本部長の権限）

第２０条 （略）

２ 原子力災害対策本部長は、当該原子力災害対策本部の緊急事態応急対策実施区域及び原子力災害事後対策実施区域における緊急事態応急対策等を的確かつ迅速に実施するため特に必要があると認めるときは、その必要な限度において、関係指定行政機関の長及び関係指定地方行政機関の長並びに前条の規定により権限を委任された当該指定行政機関の職員及び当該指定地方行政機関の職員、地方公共団体の長その他の執行機関、指定公共機関及び指定地方公共機関並びに原子力事業者に対し、必要な指示をすることができる。

３～１０ （略）

【参考２】

「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」（原子力災害対策本部：最終改正 令和５年３月30日）

（別添１）<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001171963.pdf>

（別添２）<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001171107.pdf>

（別添３）<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001171964.pdf>

（別添４）<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001171105.pdf>

（参考資料）<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001171110.pdf>

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１３６９報）　2023/11/28**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36516.html>

　１　自治体の検査結果

宮城県、山形県、埼玉県、川越市、千葉市、柏市、東京都、文京区、新潟県、京都府、大阪市、高槻市、東大阪市

　　※ 基準値超過　６件

　No. 4 宮城県　　 マツタケ　　　 　　（Cs ： 230 Bq / kg )　気仙沼市

　No. 5 宮城県　　 マツタケ　　　 　　（Cs ： 230 Bq / kg )　気仙沼市

　No. 6 宮城県　　 マツタケ　　　 　　（Cs ： 230 Bq / kg )　気仙沼市

　No. 7 宮城県　　 マツタケ　　　 　　（Cs ： 220 Bq / kg )　気仙沼市

　　　No. 17 宮城県　　 マツタケ　　　 　　（Cs ： 140 Bq / kg )　気仙沼市

　　　No. 319 宮城県　　 マツタケ　　　 　　（Cs ： 170 Bq / kg )　気仙沼市

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１３６８報）　2023/11/21**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36388.html>

　２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果

　　※ 基準値超過　１件

　　　No. 515 福島県　　 ソバ　　　 　　（Cs ： 430 Bq / kg )　葛尾村

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.24 2023（2023.11.22）2023/11/22**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202324m.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202324m.pdf%20)

**目次**

**【世界保健機関（WHO）】**

1. 世界保健機関（WHO）が食品由来疾患のサーベイランスおよび対応のツールとして全ゲノムシークエンシング（WGS）法を使用するためのガイダンスを発行

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. カンタロープメロンに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（Salmonella　Sundsvall）感染アウトブレイク（2023 年 11 月 17 日付初発情報）

2. 乾燥ドッグフードに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（*Salmonella*　Kiambu）感染アウトブレイク（2023 年 11 月 9 日付初発情報）

**【カナダ公衆衛生局（PHAC）】**

1. 公衆衛生通知：Malichita ブランドのカンタロープメロンに関連して発生しているサルモネラ（*Salmonella* Soahanina および *S*. Sundsvall）感染アウトブレイク（2023 年 11月 17 日付初発情報）

2. 公衆衛生通知：生ペットフードおよびウシとの接触に関連して発生している広範囲薬剤耐性サルモネラ（*Salmonella* I 4,[5],12:i:-）感染アウトブレイク（2023 年 11 月 11 日付初発情報）

**【欧州疾病予防管理センター（ECDC）】**

1. 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 － 2020 年次疫学報告書

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. 慢性消耗病（CWD）モニタリングの結果（IV）

**【英国食品基準庁（UK FSA）】**

1. 輸入エノキダケのリステリア（*Listeria monocytogenes*）汚染に関する助言

**【ProMED-mail】**

1.コレラ、下痢、赤痢最新情報（24）（23）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.24 2023（2023.11.22）　023/11/22**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202324c.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202324c.pdf%20)

**＜注目記事＞**

**【FAO/WHO】 第 46 回コーデックス総会（CAC46）**

2023 年 11 月 27 日～12 月 2 日、イタリア・ローマの FAO 本部で CAC46 が物理的開催される。重要な議題の一つがジルパテロール塩酸塩の最大残留基準値（MRLs）案の採択である。開催に先立ち、Steve Wearne 議長が議論の進め方についての提案書を発表した。それによると、ステップ 8 に進めるのか否か、次にステップ 8 で MRLs 案を最終採択するのか否か、という 2 段階で討議を行い、いずれの段階でも合意が得られない場合には投票で決定することを提案している。

**【FDA】 高濃度の鉛の調査：Cinnamon Applesauce パウチ(2023 年 11 月)**

2023 年 10 月 31 日、Wanabana LLC は、鉛が高濃度で含まれる可能性を理由に、すべての WanaBana Apple Cinnamon Fruit ピューレパウチの自主的リコールを開始した

さらに 2023 年 11 月 9 日、当社はリコールの発表対象を拡大し、Schnucks 及び Weis のcinnamon applesauce パウチに関する情報を追加した。2023 年 11 月 16 日時点で、FDAに提出されたリコール製品に関連する可能性のある病気の報告は 34 件である。

**＊ポイント：** 前号の注目記事でご紹介した米国のリコール情報の続報です。当初の被

害者数は 4 名でしたが、その報告数は徐々に増えているようです。続報では、リコール対象の製品から 2.18 ppm の鉛が検出されたと報告していますが、まだ 1 製品のみなので他の製品の濃度がどの程度なのかは不明です。状況証拠から汚染源は原料として使用されたエクアドル産のシナモンを疑っていますが、シナモン自体の鉛濃度はまだ検査していないとして特定には至っていません。一般的な加工食品の鉛汚染による健康被害の報告はまれです。被害者数の増加状況をみると、このリコール問題はもうしばらく続くと予想されますので、次号以降も注目していきます

**【別添 EC】 グリホサートの認可の更新又は拒否について加盟国の合意が特定多数に達しなかった**

欧州委員会（EC）では、農薬の有効成分グリホサートの認可更新について審査委員会（Appeal Committee）で投票による採択を諮ったが、更新又は拒否のいずれにも必要な特定多数を得ることができず、合意に達しなかった。そのような状況に陥った場合、EUの法律のもと、EC には現行の認可期間が満了する前に決定を下す義務がある。そのためEC は、2023 年 7 月に提出された EFSA の評価結果に基づき、一定の使用条件及び制限を設けた上で、グリホサートの認可を 10 年間更新する手続きを進めることとなった。制限としては、収穫前の乾燥剤としての使用の禁止、非標的生物/植物を保護するための特定措置を講じることなどが含まれている。

**＊ポイント：** 昨年 12 月より延期されていたグリホサートの認可が 10 年間更新される

ことが決定しました。ただし、本決定は EU レベルでの話であり、グリホサート製品の上市を認可するか否かは、各加盟国による国内での認可次第となります。今回の特定多数決方式による投票で合意に至らなかったことを踏まえると、EU での認可は更新されたものの、加盟国レベルではまだ騒動は続きそうです

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.24 2023（2023.11.22）　023/11/22　別添**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202324ca.pdf>

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第923回）の開催について　2023/11/30**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

**12/1現在　発表がありません　お休みのようです**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和5年12月日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３． 議事

４．動画視聴について

：本会合については、その様子を動画配信するとともに、会場での傍聴も受け付けます。動画の視聴又は会場での傍聴を希望される方は、12月日（月）12時までに、内閣府共通意見等登録システム(<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1404.html>　にて申し込みいただきますようお願いいたします。

　動画の視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに視聴に必要なURLを、12月日（火）12時までに御連絡いたします。

　　なお、会場での傍聴席は限りがありますので、傍聴を希望される方が多数の場合には原則として先着順とさせていただき、傍聴可能な方には12月日（月）18時までに御登録いただいたメールアドレス宛てにご連絡いたしますので、受付時間（13：30〜13：50）までに会議室入口で受付をお済ませください。受付時間終了後は入場出来ませんので、ご了承ください。会場で傍聴できない方については、動画視聴に必要なＵＲＬをご送付させていただきます。

　　また、当日の配布資料につきましては、会議開催前までに食品安全委員会のウェブサイト（　<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>　）に掲載予定ですので、必要に応じて参照いただきながら、ご覧ください。

※動画視聴時の録画及び録音、画面撮影はご遠慮ください。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■プリオン「スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓」に係る食品健康影響評価を公表しました　2023/11/21**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya15010824502>

　評価書詳細

項目 内容 添付資料ファイル

評価案件ID kya15010824502 -

評価品目名 スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓について（さらなる月齢条件の引き上げ） -

評価品目分類 プリオン -

用途 - -

評価要請機関 厚生労働省 -

評価要請文書受理日 2015年1月8日

評価要請の根拠規定 食品安全基本法第24条第3項 -

評価目的 スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓に係る輸入条件を設定するに当たっての食品健康影響評価 -

評価目的の具体的内容 国際的な基準を踏まえてさらに月齢の規制閾値（30か月齢）を引き上げた場合のリスクを評価 -

評価結果通知日 2023年11月21日 -

評価結果の要約

リスク管理措置の適切な実施に加え、2019年1月評価と同様に牛と人との種間バリアの存在も踏まえると、食品安全委員会は、スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓について、月齢制限を「条件なし」としたとしても、牛肉等の摂取に由来する定型BSEプリオンによるvCJD発症の可能性は極めて低いと考える。

なお、非定型BSEについては、「定型BSEに対して実施されるものと同様の適切なリスク管理措置を前提とすれば、牛肉及び牛の内臓（SRM以外）の摂取に由来する非定型BSEプリオンによるvCJDを含む人のプリオン病発症の可能性は極めて低いものと考える。」とした国内評価（国内の健康と畜牛のBSE検査の廃止に関する2016年8月評価）における見解に影響を及ぼす新たな知見はない。

以上から、諮問事項の「国際的な基準を踏まえてさらに月齢の規制閾値（30か月齢）を引き上げた場合のリスク」に関し、スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓の月齢制限を「条件なし」としたとしても、人へのリスクは無視できると判断した。

本評価結果は、現在実施されているリスク管理措置を前提としたものである。そのため、リスク管理機関は、特に各国における飼料規制、サーベイランス、と畜前検査及びSRM除去に関する制度の変更を含めた規制状況について、積極的かつ継続的に情報を収集する必要がある

評価結果の要約補足 -

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和5年10月21日から令和5年11月2日）2023/10/27**

[https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from\_year=2023&from\_month=10&from\_day=21&to=struct&to\_year=2023&to\_month=11&to\_day=2&max=100](https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2023&from_month=10&from_day=21&to=struct&to_year=2023&to_month=11&to_day=2&max=100%20)

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\chichi2\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**★***Link***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**■***NEW***埼玉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2023/11/30**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/231130.html>

　　本日（11月30日（木曜日））、埼玉県毛呂山町の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内3例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：埼玉県毛呂山町

飼養状況：約4.5万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（11月29日（水曜日））、埼玉県は、同県毛呂山町の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（11月30日（木曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***全国の野生鳥獣による農作物被害状況について（令和4年度）　2023/11/28**

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/231128.html>

　　農林水産省は、令和4年度の野生鳥獣による農作物被害状況について、都道府県からの報告を基に、全国の被害状況を取りまとめました。（都道府県は、市町村からの報告を基に把握を行っています。）

被害状況の概要

1．令和4年度の野生鳥獣による全国の農作物被害は約156億円（対前年度約＋0.5億円）、被害面積は約3万4千haで（同＋0.8千ha）、被害量は約46万9千t（同＋8千t）です。

2．主要な鳥獣種類別の被害金額については、イノシシ（被害額36億円、対前年度▲2.7億円）カモ（同4億円、同▲1.2億円）等で減少する一方、シカ（同65億円、同＋4.0億円）、アライグマ（同5億円、同＋0.4億円）等の被害は増加しています。

添付資料

全国の野生鳥獣による農作物被害状況（令和4年度）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/attach/pdf/231128-1.pdf>

野生鳥獣による農作物被害の推移（鳥獣種類別）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/attach/pdf/231128-2.pdf>

お問合せ先

農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課　担当者：谷川、堀澤

代表：03-3502-8111（内線5501）ダイヤルイン：03-6744-7642

**■***NEW***佐賀県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内1例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/11/28**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/231128_1.html>

　　佐賀県鹿島市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内1例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）佐賀県鹿島市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内1例目、11月25日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***茨城県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内2例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/11/28**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/231128.html>

　　茨城県笠間市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内2例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）茨城県笠間市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内2例目、11月27日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***「日ロ漁業委員会第40回会議(日ロ地先沖合漁業交渉)」の開催について　2023/11/27**

**水産庁**

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kokusai/231127.html>

　　11月27日（月曜日）から12月1日（金曜日）までの予定で、ウェブ会議により「日ソ地先沖合漁業協定」に基づく「日ロ漁業委員会第40回会議」が開催されます。

なお、会議は非公開です。冒頭のカメラ撮影もできません。

1.概要

「日ロ漁業委員会」は、1984年に発効した「日ソ地先沖合漁業協定」（※）に基づいて設置されているものです。毎年、翌年の日ロ双方の200海里水域における相互の漁船の漁獲割当量等の操業条件等について協議しています。

（※）正式名称は「日本国政府とソヴィエト社会主義共和国連邦政府との間の両国の地先沖合における漁業の分野の相互の関係に関する協定」です。

2.開催日程

日程：令和5年11月27日（月曜日）から12月1日（金曜日）まで（予定）〔ウェブ会議〕

3.出席予定者

日本側：魚谷 敏紀（うおや としのり） 水産庁資源管理部長（日本政府代表）ほか、

　　外務省、水産庁、北海道庁等及び関係する漁業団体の関係者

ロシア側：ヤコヴレフA.V. 連邦漁業庁副長官（ロシア連邦代表）ほか

外務省、連邦漁業庁、連邦保安庁国境警備局等の関係者

4.主要議題

令和6年（2024年）の日ロ双方の200海里水域における相互の漁船の漁獲割当量等の操業条件

5.その他（昨年の結果）

1.令和5年（2023年）の日本200海里水域におけるロシア漁船の操業条件

（相互入漁）

（1）漁獲割当量50,000トン

（2）主な魚種別の割当量

サバ40,000トン

　　　　マイワシ8,000トン

イトヒキダラ2,000トン

（3）総隻数89隻

2.令和5年（2023年）のロシア200海里水域における日本漁船の操業条件

（相互入漁）

（1）漁獲割当量50,000トン

（2）主な魚種別の割当量

サンマ31,824トン

　　　　スルメイカ5,619トン

　　　　マダラ3,200トン

（3）総隻数585隻

（有償入漁）

（1）漁獲割当量694.66トン

（2）総隻数22隻

（3）見返り金約2,694万円

〈添付資料〉

操業水域概念図

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kokusai/attach/pdf/231127-1.pdf>

お問合せ先

資源管理部国際課　担当者：和澤

代表：03-3502-8111（内線6743）ダイヤルイン：03-3501-3861

**■***NEW***三重県漁業協同組合連合会における養殖まだいの不適正表示に対する措置について　2023/11/27**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/231127.html>

　　農林水産省は、三重県漁業協同組合連合会（三重県津市広明町323-1。法人番号7190005000276。以下「三重漁連」という。）が、養殖まだいの原産地について、不適正な表示をして販売していたことを確認しました。

このため、明日28日（火曜日）に三重漁連に対し、食品表示法に基づき、表示の是正と併せて、原因の究明・分析の徹底、再発防止対策の実施等について指示を行います。

1.経過

農林水産省関東農政局及び東海農政局が、令和4年3月23日から令和5年11月2日までの間、三重漁連に対し、食品表示法(平成25年法律第70号)第8条第2項の規定に基づく立入検査等を行いました。

この結果、農林水産省は、三重漁連が養殖まだいの原産地について、「和歌山県産」又は「愛媛県産」であるにもかかわらず、「三重県産」と事実と異なる表示をして、卸売業者、仲卸業者及び小売業者に一般用生鮮食品として販売したことを確認しました。

なお、三重漁連は、上記の不適正表示期間を、令和2年7月から令和5年3月頃としていますが、この期間の表示に関する情報が記載された書類の整備・保存に不備があったことから、「三重県産」と表示して販売した違反期間・数量を書類等により正確に特定することはできません。

2.措置

三重漁連が行った上記1の行為は、食品表示法第4条第1項の規定に基づき定められた食品表示基準(平成27年内閣府令第10号)第18条第1項の表の「原産地」の項の規定に違反するものです(別紙参照)。

このため、農林水産省は、三重漁連に対し、食品表示法第6条第1項の規定に基づき、以下の内容の指示を行います。

また、今後は表示に関する情報が記載された書類の整備・保存をするよう指導を行います。

指示の内容

(1)販売する全ての食品について、直ちに表示の点検を行い、不適正な表示の食品については速やかに食品表示基準の規定に従って、適正な表示に是正した上で販売すること。

(2)販売していた食品について、食品表示基準に定められた遵守事項が遵守されていなかった主な原因として、消費者に対し正しい表示を行うという意識及び食品表示制度に対する認識の欠如並びに食品表示制度についての内容確認及び管理体制の不備があると考えられることから、これらを含めた原因の究明・分析を徹底すること。

(3)(2)の結果を踏まえ、食品表示に関する責任の所在を明確にするとともに、食品表示の相互チェック体制の強化、拡充その他の再発防止対策を適切に実施すること。これにより、今後販売する食品について、食品表示基準に違反する不適正な表示を行わないこと。

(4)全役員及び全従業員に対して、食品表示制度についての啓発を行い、その遵守を徹底すること。

(5)(1)から(4)までに基づき講じた措置について報告書にとりまとめ、令和5年12月28日までに農林水産大臣宛てに提出すること。

参考

本件について、農林水産省東海農政局でも同様のプレスリリースを行っております。

食品表示法違反の事実に対しては、食品表示連絡会議を構成する各行政機関(消費者庁、警察庁、国税庁、農林水産省)で連携しつつ、厳正な対応に努めてまいります。

添付資料

別紙 食品表示法（抜粋）、食品表示基準（抜粋）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/231127-2.pdf>

参考 三重県漁業協同組合連合会の概要

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/attach/pdf/231127-1.pdf>

お問合せ先

消費・安全局消費者行政・食育課 米穀流通・食品表示監視室　担当者：佐久間、田中

代表：03-3502-8111（内線4494）ダイヤルイン：03-6744-1397

**■***NEW***茨城県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2023/11/27**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/231127.html>

　　本日（11月27日（月曜日））、茨城県笠間市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内2例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：茨城県笠間市

飼養状況：約7.2万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（11月26日（日曜日））、茨城県は、同県笠間市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（11月27日（月曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

3.今後の対応方針

総理指示及び「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」等に基づき、以下の措置について万全を期します。

1.当該農場の飼養家きんの殺処分及び焼埋却、農場から半径3km以内の区域について移動制限区域の設定、半径3kmから10km以内の区域について搬出制限区域の設定等必要な防疫措置を迅速かつ的確に実施。

2.移動制限区域内の農場について、速やかに発生状況確認検査を実施。

3.感染拡大防止のため、発生農場周辺の消毒を強化し、主要道路に消毒ポイントを設置。

4.茨城県副知事との面会等により、茨城県と緊密な連携を図る。

5.必要に応じて、食料・農業・農村政策審議会 家畜衛生部会 家きん疾病小委員会を開催し、防疫対策に必要な技術的助言を得る。

6.感染状況、感染経路等を正確に把握し、的確な防疫方針の検討を行えるようにするため、必要に応じ、農林水産省の職員を現地に派遣。

7.殺処分・焼埋却等の防疫措置を支援するため、必要に応じ、各地の動物検疫所、家畜改良センター等から「緊急支援チーム」を派遣。

8.「疫学調査チーム」による調査を実施。

9.全都道府県に対し、改めて注意喚起し、本病の早期発見及び早期通報並びに飼養衛生管理の徹底を指導。

10.関係府省庁と十分連携を図りつつ、生産者、消費者、流通業者等への正確な情報の提供に努める。

4.農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部

日時：令和5年11月27日（月曜日）（持ち回り開催）

**■***NEW***佐賀県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の開催について　2023/11/25**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230110_2.html>

**本日（11月25日（土曜日））佐賀県鹿島市の家きん農場において、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（今シーズン国内1例目）が確認されました。**

**これを受け、農林水産省は、本日12時45分から「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を開催し、今後の対応方針について確認します。**

**「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」は非公開です。ただし、冒頭のみカメラ撮影が可能です。**

**当該農場は、農家から通報があった時点から飼養家きん等の移動を自粛しています。**

**なお、我が国の現状においては、鶏肉や鶏卵を食べることにより、鳥インフルエンザがヒトに感染する可能性はないと考えております。**

**現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。**

**1.農場の概要**

**所在地：佐賀県鹿島市**

**飼養状況：約4万羽（採卵鶏）**

**2.経緯**

**（1）昨日（11月24日（金曜日））、佐賀県は、同県鹿島市の農場から、死亡羽数の増加がみられる旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。**

**（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。**

**（3）本日（11月25日（土曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。**

**3.農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部**

**日時：令和5年11月25日（土曜日）12時45分**

**場所：農林水産省第1特別会議室**

**所在地：東京都千代田区霞が関1-2-1**

**■第1回海業推進全国協議会の開催について　2023/11/20**

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/bousai/231120.html>

　～海業(うみぎょう)で漁村のにぎわいや所得・雇用を創出しよう！～

水産庁は、海業への理解の促進と取組の全国展開を推進するため、「第1回海業推進全国協議会」を令和5年12月13日(水曜日)に開催します。なお、本協議会は公開です。

　1.概要

漁村では、全国平均を上回る速さで人口減少や高齢化が進行しており、漁村のにぎわいを創出していくことが重要な課題となっています。このため、関係者が一体となって海や漁村に関する地域資源を活かした海業を漁港・漁村で展開し、地域のにぎわいや所得を生み出すことが重要です。

このたび、水産庁は、地方公共団体、漁協・漁業関係者、民間企業、民間団体等の海業に関心を持つ幅広い関係者の皆様を対象に、「第1回海業推進全国協議会」を開催します。水産庁から海業に関する政策情報を提供するとともに、優良な取組事例の発表等により海業の取組の普及・横展開を図ります。

2.開催日時

日時：令和5年12月13日(水曜日)13時30分から17時00分まで

会場：農林水産省本省7階講堂

所在地：東京都千代田区霞が関1-2-1

3.内容

1.海業推進に向けた政策について(水産庁計画課)

2.講演

(1)海業に関する基調講演　国立大学法人東京海洋大学 副学長 婁ろう 小波 しょうは氏

(2)取組事例の講演

　　　(ア) 神奈川県三浦市 市長室長 徳江 卓氏

　　　(イ) 田尻漁業協同組合 参事 上野 公敬氏

　　　(ウ) 高知県漁業協同組合上ノ加江支所 支所長 大高 明氏

　　　(エ) NPO法人かまえブルーツーリズム研究会 理事長 橋本 正惠氏

　　　(オ) 株式会社デジサーフ 代表取締役社長 高橋 佳伸氏

　　　(カ) JTB和歌山支店 営業課長 颯田 康一氏

3.質疑応答　(注)オンライン傍聴の方は傍聴のみとなります。

4.参加可能人数

会場参加及びオンラインでの一般傍聴及び報道傍聴を予定しています。(会場参加は先着200名まで、オンラインでの傍聴は先着500名まで)

5.参加申込要領

(1)申込方法

本協議会は会場参加及びZoom配信によるオンライン傍聴が可能です。以下の参加申込フォームに必要事項を明記の上、お申し込みください。

なお、お申し込みいただきました方には、参加の可否、当日の会場参加方法及びオンライン傍聴方法について改めてご連絡いたします。

〈会場参加及びオンライン傍聴申込フォーム〉

<https://www.contactus.maff.go.jp/jfa/form/bousai/umigyo231213.html>

(2)申込締切　12月7日（木曜日）12時00分

(3)協議会に参加する場合の留意事項

会場参加又はオンライン傍聴にあたり、次の留意事項を遵守してください。これらを守られない場合は、参加をお断りすることがございます。

〈会場参加の場合〉

(ア) 担当職員の指定した場所以外の場所には立ち入らないこと。

(イ) 携帯電話等はマナーモードに設定の上、会場内の通話は控えること。

(ウ) (報道関係者以外の方)協議会中、撮影・録音を行わないこと。

(エ) 指定された場所以外で喫煙しないこと。

(オ) 銃砲刀剣等その他危険なものを持ち込まないこと。

(カ) 咳、発熱などの症状がある場合は入館できません。

(キ) その他、担当職員の指示に従うこと。

〈オンライン傍聴の場合〉

(ア) オンライン傍聴中はカメラ・マイクをミュートに設定すること。

(イ)（報道関係者以外の方）オンライン配信される映像・音声の録画・録音を行わないこと

(ウ) オンライン傍聴用の URL を第三者に転送したり SNS で公開したりしないこと。

(エ) ネット通信料は、傍聴者の負担となります。

(オ) パソコン、タブレット、スマートフォン等での傍聴が可能ですが、安定したネットワーク環境を推奨しています。

(カ) ネットワークの回線状況や Wi-Fi 環境により動作に支障が出る場合がございますのであらかじめご了承ください。

(キ) その他、担当職員の指示に従うこと。

**7.参考**

**海業（うみぎょう）の推進について（水産庁HP）**

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/keikaku/230718.html>

**お問合せ先**

**〈協議会開催に関すること〉**

**漁港漁場整備部防災漁村課　担当者：蓬田、内海、佐藤**

**代表：03-3502-8111（内線6905）ダイヤルイン：03-6744-2392**

**〈海業推進政策に関すること〉**

**漁港漁場整備部計画課　担当者：河野、加藤**

**代表：03-3502-8111（内線6846）ダイヤルイン：03-3506-7897**

**■農林水産物・食品の海外での模倣品疑義情報相談窓口を設置　2023/11/17**

<https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chizai/231117.html>

　 農林水産省は、日本の農林水産物・食品の海外での模倣品がジャパンブランドの毀損や輸出促進の阻害要因となることから、関係省庁と連携して、模倣品に取り組む枠組を新たに設けることとしました。その第一弾として、タイ（バンコク）の輸出支援プラットフォーム内に疑義情報を受け付ける模倣品疑義情報相談窓口を設置しました。

既に海外展開している又は、海外展開を検討中の事業者・団体から広く情報提供や相談を受けつけることとしております。また、この取組は、今後、各輸出支援プラットフォームに拡大予定です。

1. 概要

　　日本の農林水産物・食品は、海外で高く評価されている一方、海外で模倣品（偽物）の流通が多数発見されていることを受け、農林水産省は、関係省庁と連携し、海外における日本の農林水産物・食品の模倣品対策に取り組んでいます。この度、海外における日本の農林水産物・食品の模倣品に関する疑義情報や相談を広く受け付け、これに対応する枠組みとして「農林水産物・食品海外模倣品疑義情報相談窓口」（以下「相談窓口」と言います。）を新設します。

　　従前より、農林水産省においては、GI生産者団体等の海外展開等を、特許庁・JETROにおいては中小企業の商標等の海外出願等を支援しています。今般、相談窓口を、輸出支援プラットフォームにおいて一元的に受け付けることにより、その後の対応をワンストップで行える体制を構築することとします。

模倣品や疑義情報にお困りの方や今後海外展開をご検討の方には、輸出支援プラットフォームを通じて、

1. 商標権等に基づく警告状の送付や冒認商標に対する異議申立などの費用の補助を行う農林水産省・特許庁の事業の紹介
2. 海外のGI申請や商標出願を行う者に対して申請又は出願費用の補助を行う農林水産省・特許庁の事業の紹介
3. 知的財産権確立に向けた、弁護士や弁理士等のアドバイスを希望する者に対するコンサルティングを支援する農林水産省事業の紹介
4. 寄せられた疑義情報や相談内容のうち産地偽装が疑われるケースなどは現地当局への情報提供や働きかけを行い、消費者保護や不正競争防止の観点からの対応を促す

などを、大使館・領事館、JETRO関係部署が一体となった複層的な対応を行うこととします。

今後、相談窓口は、順次、各輸出支援プラットフォームに設置していく予定としており、海外における我が国のブランド産品の模倣品排除とブランド保護を推進していきます。

2. タイ「農林水産物・食品の海外での模倣品等対策相談窓口」の設置

　今般、第一号となる「農林水産物・食品の海外での模倣品等対策相談窓口」をタイに設置しました。既にタイに進出している事業者、団体の皆様はもちろん、今後進出を考えている事業者、団体の皆様もぜひ御活用ください。

本相談窓口では、疑義情報の情報提供も受け付けています。事業者、団体の方だけでなく、消費者の方も含め、疑義情報に接したという方は、積極的に情報提供をお願いします。

なお、疑義情報の対象範囲は、農林水産品・食品に貼られたラベルの他に、レストランのメニュー、Web・新聞・雑誌・POP広告も含まれます。

【JETROタイ・バンコクWebページ】

タイ・バンコク「農林水産物・食品の海外での模倣品等対策相談窓口」

<https://www.jetro.go.jp/agriportal/platform/th/ip.html>

【参考】

地理的表示保護・活用推進事業について

<https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chizai/attach/pdf/230720-2.pdf>

添付資料

［プレスリリース］農林水産物・食品の海外での模倣品疑義情報相談窓口を設置

<https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chizai/attach/pdf/231117-1.pdf>

　お問合せ先

輸出・国際局知的財産課　担当者：坂本、河井

代表：03-3502-8111（内線4285）　ダイヤルイン：03-6744-0234

**■「森林資源の現況」について　2023/11/13**

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/keikaku/231013.html>

　　林野庁は、令和4年3月31日現在における森林資源の現況について、取りまとめました。

概要

林野庁は、全国森林計画策定の基礎資料を得ることを目的として、おおむね5年ごとに、森林資源の現況について調査を行い、全国森林計画の閣議決定と併せて公表しています。

集計結果は、以下のURLから御覧になれます。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/genkyou/r4/>

（1）森林面積

令和4年3月31日現在における我が国の森林面積は2,502万haで、ほぼ横ばいで推移しています。

（2）森林蓄積

令和4年3月31日現在における我が国の森林蓄積は、人工林を中心に年々増加してきており、55億6千万m3となりました（前回調査時（平成29年3月31日現在）：52億4千万m3）。

添付資料

別添1 森林資源の現況

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/keikaku/attach/pdf/231013-2.pdf>

別添2 森林面積・蓄積の推移

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/keikaku/attach/pdf/231013-3.pdf>

別添3 齢級構成

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/keikaku/attach/pdf/231013-4.pdf>

お問合せ先

林野庁森林整備部計画課　担当者：全国森林計画班　林、河野

代表：03-3502-8111（内線6155）ダイヤルイン：03-6744-2339

**■新たな「全国森林計画」が決定しました　2023/11/13**

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/keikaku/231013_8.html>

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■レック株式会社に対する景品表示法に基づく課徴金納付命令について**

**2023年11月22日**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/035435/>

**消費者庁は、本日、レック株式会社に対し、同社が供給する「ノロウィルバルサン」と称する商品に係る表示について、景品表示法第8条第1項の規定に基づき、課徴金納付命令を発出しました。**

**公表資料**

**レック株式会社に対する景品表示法に基づく課徴金納付命令について**

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_231122_01.pdf>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★東海大学（静岡キャンパス）「あかもく揚げ」 - 返金／回収　賞味期限切れ商品を販売　2023/11/30**

**★戸田久「むぎかっけ」 - 返金／回収　岩手県産小麦の一部に赤カビの一種のDON（デオキシニバレノール）が基準値を超過して検出されたため　2023/11/30**

**★神戸物産「本格四川火鍋（麻辣ベース）」 - 返金／回収　一部商品においてかびの発生が確認されたため　2023/11/30**

**★ミルン牧場「アイスクリーム：ストロベリー」 - 回収　大腸菌群陽性　2023/11/30**

**★神戸物産「ハニーバターポップコーン、キャラメルポップコーン」 - 返金／回収　一部商品で当該商品に使用できない食品添加物（TBHQ）が検出されたため　2023/11/30**

**★林久右衛門商店「乾味百撰　本枯厚削り」 - 返金／回収　賞味期限印字部分にピンホールがあり、変色、風味の劣化、カビ発生のおそれがあるため　2023/11/30**

**★府金製粉「南部地粉、ほか6商品」 - 返金／回収　基準値を超える濃度のカビ毒（デオキシニバレノール）が含まれることが判明　2023/11/30**

**★古舘製麺所「韃靼そば、ほか20商品」 - 返金／回収　原料の小麦に基準以上の「DON（デオキシニバレノール）」が検出されたとの報告があったため　2023/11/30**

**★いわて生活協同組合「雑穀ブレッド、すいとん粉、県産小麦粉、うどん（乾麺）」 - 返金／回収　DON（デオキシニバレノール）濃度の基準値超過　2023/11/30**

**★オリオンベーカリー「アイコープ岩手県産小麦の雑穀ブレッド」 - 返金／回収　カビ毒による汚染の恐れ　2023/11/30**

**★森光商店「素煎り大豆、素煎り黒豆」 - 回収　賞味期限の誤表示（誤：2024.50.06、正：2024.05.06）　2023/11/30**

**★豊上東山観光「南部煎餅チョコクランチ、かたい愛で結ばれて」 - 返金／回収　原料の南部煎餅に使用された小麦粉で基準値以上の赤カビが検出されたことが判明　2023/11/30**

**★老舗白沢せんべい店「南部せんべい」 - 返金／回収　カビ毒の基準値を超過　2023/11/29**

**★神戸物産「ひとくちがんも」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落　2023/11/29**

**★ピーケイサイアム「ニオイタコノキ」 - 返金／回収　残留農薬基準値の超過　2023/11/29**

**★Lindt&Sprungli Japan「リンツ ウエハースバー 35g」 - 返金／回収　アレルゲン「卵」の表示欠落　2023/11/29**

**★白石食品工業「東北産小麦のカンパーニュ、東北産小麦のくるみカンパーニュ」 - 返金／回収　原料小麦の一部においてデオキシニバレノールが濃度の基準を超過している可能性があるため　2023/11/29**

**★川松食品「白す干」 - 返金／回収　ふぐの稚魚と疑われるものが混入　2023/11/29**

**★船越豆腐店「とうふ」 - 回収　「遺伝子組み換え大豆は使用していません」と記載しているが、組み換え遺伝子陽性だったため　2023/11/28**

**★籠谷「鶏卵：きみが美しい三木美人」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：22.12.08、正：23.12.08）　2023/11/28**

**★雄勝野きむらや「たくあんづけ：いぶりがっこスライス」 - 交換／回収　異物（金属片）混入のため　2023/11/28**

**★ライフスタイルジャパン「ピーナッツチョコレート餅パイ」 - 交換／回収　一部商品にカビが発生したため　2023/11/28**

**★父石家神田「かき餅（ごま、まめ）、豆もち」 - 回収　硬質プラスチック破片混入のおそれがあるため　2023/11/28**

**★小川貿易「果実酒：アガミー ボージョレ・ヴィラージュ・ヌーヴォー2023」 - 返金／回収キャップ内側のプラスチック片の混入が確認されたため　2023/11/27**

**★鹿児島くみあい食品「薩摩のつぼ漬」 - 回収　食品添加物アセスルファムカリウムの使用基準超過　2023/11/27**

**★セブンフードサービス「奇跡の角食105%」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦、乳成分、大豆」の表示欠落　2023/11/27**

**★扶桑守口食品「moriguchi cake」 - 返金／回収　針金状の金属物の混入の可能性があるため　2023/11/27**

**★SEKAIE（韓ビニイオンモール常滑店）「〈農心〉サリコムタン麺、ほか10商品」 - 交換／回収　アレルゲン「乳、小麦粉、卵、大豆、豚肉、牛肉、ゼラチン、いか、りんご」の表示欠落　2023/11/24**

**★SEKAIE（韓ビニイオンモール常滑店）「〈八道〉ジングックゴンゲッティ 、ほか3商品」 - 交換／回収　アレルゲン「小麦粉、大豆、牛肉」の表示欠落　2023/11/24**

**★SEKAIE（韓ビニイオンモール常滑店）「〈オモリ〉キムチチゲラーメン」 - 交換／回収　アレルゲン「小麦粉、乳、大豆、豚肉、牛肉」の表示欠落　2023/11/24**

**★SEKAIE（韓ビニイオンモール常滑店）「しっとりチョコチップ1p、マーケットオーリアルブラウニー1p」 - 交換／回収　アレルゲン「小麦粉、乳、卵、大豆、牛肉」の表示欠落　2023/11/24**

**★SEKAIE（韓ビニイオンモール常滑店）「ビックパイいちご1p、モッチモッチチョコチップ1p」 - 交換／回収　アレルゲン「小麦粉、乳、卵、大豆、牛乳」の表示欠落　2023/11/24**

**★SEKAIE（韓ビニイオンモール常滑店）「唐辛子ツナ、〈ヘテ〉ボンボンジュースもも」 - 交換／回収　アレルゲン「小麦、かに、えび、大豆」「もも」の表示欠落　2023/11/24**

**★SEKAIE（韓ビニイオンモール常滑店）「〈CW〉さつまいも形お菓子、ほか3商品」 - 交換／回収　アレルゲン「小麦粉、乳、落花生、大豆」の表示欠落　2023/11/24**

**★SEKAIE（韓ビニイオンモール常滑店）「〈ヘテ〉ホームランボール、ほか7商品」 - 交換／回収　アレルゲン「小麦粉、乳、大豆、牛肉、ピーナッツ、卵、ごま、えび、落花生、アーモンド」の表示欠落　2023/11/24**

**★まつまさ「しいたけ佃煮」 - 返金／回収　包装膨張および微生物汚染のおそれ　2023/11/24**

**★SEKAIE（韓ビニイオンモール常滑店）「〈ヘテ〉すりおろし梨ジュース、ほか4商品」 - 交換／回収　アレルゲン「乳」の表示欠落　2023/11/24**

**★SEKAIE（韓ビニイオンモール常滑店）「コミアン1p」 - 交換／回収　アレルゲン「小麦、乳、落花生、大豆」の表示欠落　2023/11/24**

**★SEKAIE（韓ビニイオンモール常滑店）「ココパムピーチ、ココパムマンゴー、ココパムぶどう」 - 交換／回収　アレルゲン「乳、大豆、もも」の表示欠落　2023/11/24**

**★名城食品「3食讃岐うどん、CoCo壱番屋監修カレーうどん」 - 返金／回収　アレルゲン「大豆」の表示欠落　2023/11/24**

**★サンワールド「二色せんべい」 - 返金／回収　一部の商品に虫の混入があったため　2023/11/24**

**★兵庫県立農業高等学校「乳酸菌飲料：カルピー」 - 交換／回収　賞味期限の誤表示（誤：2023.4.19、正：2024.4.19）　2023/11/24**

**★深見梅店「有機南高梅・塩味ひかえめ」 - 返金／回収　一部の商品においてカビのような白い斑点が発生したため　2023/11/24**

**★兵庫県立小野工業高等学校「台湾カステラ、ほか4商品」 - 返金／回収　包装等に不備がありカビが発生する可能性があるため　2023/11/22**

**★センチュリートレーディングカンパニー「パットゥ ア タルティネ トラディション、パットゥ ア タルティネ ノワゼット」 - 返金／回収　アレルゲン「乳、大豆」、香料の表示欠落　2023/11/22**

**★清美堂「地鶏めしの素」 - 返金／回収　アレルゲン「鶏肉」の表示欠落　2023/11/22**

**★UDリテール（MEGAドン・キホーテUNY伊那店）「おかず畑 さつまいも甘煮」 - 返金／回収　要冷蔵（10℃以下）で販売する商品を常温で販売　2023/11/22**

**★奥村醤油醸造場「甘口かけ醤油」 - 返金／回収　甘味料サッカリンNaが基準値（0.5g/kg未満）をこえて（0.54g/kg）検出されたため　2023/11/22**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■：行政発表が見つからなかったもの**

**★細菌性食中毒★**

■**「デザフェス」出店の菓子店で食中毒、謝罪　マフィン購入者が腹痛や「糸引いてる」訴え　管理に批判殺到　11/14(火) 9:59配信　スポニチアネックス　江東区・目黒区**

**調査中**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f19df240e5eedd6c11742c4de98dc565ae639a28>

**区内で製造されたマフィンによる体調不良者の発生　2023/11/16　目黒区**

<https://www.city.meguro.tokyo.jp/seikatsueisei/kenkoufukushi/eisei/oshirase20231116.html>

概要

令和5年11月11日（土曜日）および11月12日（日曜日）の2日間、東京ビッグサイトで開催されたイベント「デザインフェスタ」に出店していた目黒区内の施設が製造・販売した一部マフィンについて、購入者から「納豆のような臭いと糸を引いているのを確認した」などの申し出があったほか、喫食後に腹痛等の症状を呈しているかたが複数名確認されました。

原因等の詳細については現在調査中ですが、当該対象商品をお持ちのかたは、喫食されないようお願いいたします。

また、既に喫食され、体調不良を呈したかたは、お住いの住所地を管轄する保健所にご相談ください。

なお、同じブースにて販売されていたマフィン以外の焼菓子について、喫食後に体調不良を呈した旨の報告は現在のところございません。

施設名称、所在地

施設名：Honey×Honey　xoxo（ハニーハニーキス）

施設所在地：東京都目黒区

販売日、販売場所

販売日：令和5年11月11日（土曜日）および11月12日（日曜日）

販売場所：東京ビッグサイト（東京都江東区有明三丁目11番1号）デザインフェスタ出店ブース

対象商品

栗マフィン

チョコチップマフィン

スイートポテトマフィン

ミルクティーマフィン

焼きりんごマフィン

ベーコンとクリームチーズマフィン

ざくろマフィン

ブルーベリーマフィン

チェリーマフィン

**■リンゴ試食で食中毒　6歳と70代が集中治療室　茨城・大子の果樹園**

**11/30(木) 9:34配信　毎日新聞　茨城県太子町**

**腸管出血性大腸菌O157**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/aa7247949e37bae3f2d50a5cca6bf2c213d0144a>

**試食リンゴで12人食中毒　O157検出　6歳児と70代女性がICUで治療　茨城・大子の果樹園　11/29(水) 21:46配信　茨城新聞クロスアイ****茨城県太子町**

**腸管出血性大腸菌O157**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/47d40ec4997a4f3a31e699b2c63d4d0c32879e93>

**試食リンゴで12人食中毒、茨城　6歳児入院、O157検出**

**11/29(水) 21:00配信　共同通信****茨城県太子町**

**腸管出血性大腸菌O157**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ca67aa50cbc2e8d8b601612118ea7e94d2659ce6>

**茨城県のりんご園で試食した１２人が食中毒、Ｏ１５７原因…６歳男児と７０代女性がＩＣＵで治療中　11/29(水) 20:39配信　読売新聞オンライン****茨城県太子町**

**腸管出血性大腸菌O157**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d9f21cfd201cd62f74cf5434f051dac23b03d4aa>

**【速報】茨城・大子町のりんご園で試食のリンゴを食べた12人が「O157」に集団感染　3人入院　11/29(水) 19:22配信　FNNプライムオンライン（フジテレビ系）****茨城県太子町**

**腸管出血性大腸菌O157**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e72b9280df428588d47ebf3bb29122456696acfa>

**果樹園で試食のりんご提供して12人食中毒　患者の便から「O157」検出　茨城県**

**11/29(水) 18:58配信　TBS NEWS DIG Powered by JNN****茨城県太子町**

**腸管出血性大腸菌O157**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a913fde5113f334f19b8fc68b9160d892aa538e8>

**食中毒発生概況について　令和５年 11 月 29 日（水）**

**照会先：保健医療部生活衛生課食の安全対策室　茨城県太子町**

**腸管出血性大腸菌O157**

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/seiei/eisei/documents/gaikyo1129.pdf>

１ 探知

令和５年11月13日（月）以降、県内の複数の医療機関から保健所あて、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく腸管出血性大腸菌感染症発生届（以下「発生届」という。）が提出された。

２ 事件の概況

発生届が提出された県内の保健所（中央、ひたちなか、日立）及び水戸市

保健所の調査によると、令和５年11月５日（日）に大子町の観光果樹園において試食のりんごを喫食した7グループ47名のうち、12名が腹痛、下痢等の食中毒様症状を呈し、12名が医療機関を受診していることが判明した。

調査の結果、患者の共通食が当該施設で提供された試食のりんごに限られること、患者及び従業員から腸管出血性大腸菌O157が検出されたこと、患者の症状及び潜伏期間が腸管出血性大腸菌によるものと一致したこと、医療機関から食中毒患者届出票が提出されたこと等から、ひたちなか保健所は本日、当該施設が提供した試食のりんごを原因とする食中毒と断定した。

なお、現在も３名が入院中である。

３ 原因施設

施設名：豊田りんご園

所在地：大子町

４ 原因となった食事　11月５日（日）に提供された試食のりんご

５ 病因物質　 腸管出血性大腸菌 O157

６ 発生日時 　令和５年 11 月６日（月） 午後６時頃（初発）

７ 摂食者数 　47 名（男性 15 名 10 歳未満～70 歳代、女性 32 名 10 歳未満～80 歳代）

８ 患者数　 12 名（男性４名 10 歳未満、女性８名 10 歳未満～80 歳代）

９ 主症状 　腹痛、下痢、血便 等

１０ 検査状況

拭き取り ： ５検体（施設、器具）

食 材 ： ４検体（りんご）

検 便 ： 34検体（患者：４検体、従業員：30検体）

結 果 ： 県衛生研究所が検査した結果、患者便３検体、従業員便１検体から腸管出血性大腸菌 O157 が検出された。

【参考】 茨城県内（水戸市を含む）の腸管出血性大腸菌による食中毒発生状況テーブル

自動的に生成された説明

**■【食中毒として確定したため再掲】食中毒が発生しました2023年11月22日 18時30分　福岡県春日市**

**腸管出血性大腸菌O157**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/shokuchudoku20231122.html>

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/207534.pdf>

　１　事件の探知

　令和５年11月13日（月）に春日市の医療機関から、腸管出血性大腸菌感染症発生の届出が筑紫保健福祉環境事務所に１名、14日（火）、16日（木）、17日（金）に福岡市の医療機関から、腸管出血性大腸菌感染症発生の届出が福岡市南保健所及び同市中央保健所にそれぞれ１名、合計４名分あり、いずれも春日市内の同一飲食店の利用歴があることが判明した。

２　概要

　　筑紫保健福祉環境事務所は、疫学調査及び有症者便等の検査の結果から、本件を食中毒と断定した。

３　発生日時　令和５年11月５日（日）昼過ぎ（初発）

４　摂食者数　８名

５　症状　腹痛、下痢、血便等

６　有症者数　５名

　　　　　　　　うち３名が医療機関を受診し、１名が入院したが、16日に退院している。

　　　　　　　　重篤な症状を呈した者はいない。

テーブル

自動的に生成された説明

７　原因施設、原因食品、原因物質

(1)原因施設

　 屋　号：ハンバーグマン春日店かすがてん

　 業　種：飲食店営業

　 所在地：春日市

(2)原因食品　11月３日（金）から５日（日）に提供された食事

〇提供メニュー（参考）ハンバーグ、ご飯、サラダ、カレー、スープ、フライドポテト

(3)病因物質　腸管出血性大腸菌O157

８　検査　有症者便から腸管出血性大腸菌O157を検出した。

9　措置　営業停止：３日間（11月22日～24日）

　なお、当該施設は11月18日（土）から営業を自粛している。

10　その他

〈参考〉県下における食中毒の発生状況（11 月 22 日現在。調査中の事件（本件を含む。）を除く。）

テーブル

自動的に生成された説明

**■食中毒の発生について　2023/11/28　神奈川県川崎市**

**ウエルシュ菌**

<https://www.city.kawasaki.jp/templates/press/cmsfiles/contents/0000156/156343/HP_20231128welch_tokumei.pdf>

令和５年１１月１８日（土）及び１９日（日）に川崎市多摩区で開催されたイベントにおいて、１１月１９日（日）に出店した飲食店（キッチンカー）を原因施設とする食中毒が発生したので、お知らせします。

１ 探知及び概要

令和５年１１月２０日（月）午後４時２０分頃、千葉県から、「１１月１９日（日）に川崎市多摩区で開催されたイベントに出店した飲食店（キッチンカー）を利用した２グループのうち、５人が腹痛、下痢等の症状を呈した。」との連絡が川崎市保健所にありました。

これまでの調査から、当該施設を利用し、症状を呈した患者の便から、ウエルシュ菌が検出されたこと、患者全員に共通する食事が当該施設で提供された食品のみであること、患者の症状等がウエルシュ菌による食中毒の特徴と一致していること及び患者を診断した医師から食中毒の届出があったことから、本日、川崎市保健所長が当該施設を原因施設とする食中毒事件と断定しました。

本市では、引き続き、調査を実施しています。

２ 患者数　４２人（概ね快方に向かっています。）

３ 発症日時（初発）　令和５年１１月１９日（日）午後６時

４ 症状　下痢、腹痛、吐き気等

５ 病因物質　ウエルシュ菌

６ 原因施設

名 称 ○○○○○○○○

営業者 ○○○○○○○○

業 種 飲食店（自動車）

営業区域 市内一円

７ 原因食品　令和５年１１月１９日（日）に当該施設で調理・提供された食事

８ 措置

（１）再発防止を指導

（２）営業停止処分　期間 令和５年１１月２８日（火）の１日間

（３）従事者に対して衛生教育を実施予定

川崎市内の食中毒発生状況（本件を含みます。）

**飲食店営業施設等に対する行政処分等　2023/11/28　神奈川県川崎市**

**ウエルシュ菌**

<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000085369.html>

行政処分年月日 令和5年11月28日（火）

施設の名称等 NAOKI’S

適用条項 食品衛生法第6条第3号違反

違反内容 病原性微生物に汚染された食品を提供し、摂食者に健康被害を与えた。

措置状況 営業停止処分1日間（令和5年11月28日（火））

**「あくたーず☆りーぐ アートフェスタ in よみうりランド」の**

**キッチンカー商品に関するご報告　2023/11/28　神奈川県川崎市**

**ウエルシュ菌**

<https://www.hiragana-actors-league.com/pdf/info1128a.pdf>

**「あくたーず☆りーぐ アートフェスタ in よみうりランド」の**

**キッチンカー商品に関するご報告　2023/11/27　神奈川県川崎市**

**ウエルシュ菌**

<https://www.hiragana-actors-league.com/pdf/info1127a.pdf>

**2・5次元俳優イベントの公式が謝罪　キッチンカー食品購入者から体調不良訴え「深くお詫び」**

**2023年11月21日 8時56分　スポニチアネックス****神奈川県川崎市**

**ウエルシュ菌**

<https://news.livedoor.com/article/detail/25389559/>

**「あくたーず☆りーぐ アートフェスタ in よみうりランド」の キッチンカー商品に関する重要なお知らせ　2023/11/20　神奈川県川崎市**

**ウエルシュ菌**

<https://www.hiragana-actors-league.com/pdf/info1120a.pdf>

**「あくたーず☆りーぐ アートフェスタ in よみうりランド」の キッチンカー商品に関するご報告　2023/11/21　神奈川県川崎市**

**ウエルシュ菌**

<https://www.hiragana-actors-league.com/pdf/info1121a.pdf>

**NAOKI’S　　世田谷区（許可区?）おそらく川崎市（神奈川県）でも許可を取得している**

<https://kitchencars-japan.com/k/naokis>

**■飲食店営業施設等に対する不利益処分等　2023/11/27　東京都西東京市**

**サルモネラ属菌**

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin//ihan/kouhyou.html>

　公表年月日　令和５年11月27日

業種等　飲食店営業

施設の名称　うなぎ　さ和野

施設所在地　東京都西東京市

主な適用条項

食品衛生法（食品衛生法等の一部を改正する法律（平成３０年法律第４６号）第２条の規定による改正前の食品衛生法（昭和２２年法律第２３３号）。以下「法」という。）第６条の規定に違反するので、法第５５条を適用

※食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令（令和元年政令第１２３号）附則第２条の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた者であるから、当該営業者に対する不利益処分については、この法を適用する。

不利益処分等を行った理由 食中毒

不利益処分等の内容　11月24日から11月28日まで営業停止

備考 （11月24日現在の状況）

原因食品：当該施設が令和5年11月３日（金曜日）に調理、提供した食事

提供した食事の主なメニュー

：インゲンの白味噌和え、和風しゅうまい、巻貝の肝、刺身（マグロ、ホタテ、白身魚）、

うな重、茶碗蒸し、香物等

病因物質：サルモネラ属菌　11月６日から３名が腹痛、下痢等を発症

**■秋田・由利本荘市の飲食店で食中毒　３人が腹痛や下痢などの症状　店は２８日から２日間の営業停止処分　11/28(火) 18:58配信　秋田朝日放送****秋田県由利本荘市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f3e96b2fb46ed3eb669a64ec17cf67b929990980>

**食中毒の発生について　2023年11月28日 | コンテンツ番号 44118　秋田県由利本荘市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/44118>

　本日、由利本荘保健所は、由利本荘市内の飲食店「鈴基」が調理、提供した食事を原因とする食中毒の発生があったと断定し、同飲食店に対し、２日間の営業停止処分としました。

１　発生日時　令和５年１１月５日（日）午後７時

２　喫食者　　１５名

３　患者数　　３名（女性３名、２０代～５０代）

　　 うち１名が入院したが、すでに退院済み

４　主な症状　腹痛、下痢、発熱、嘔吐等

５　病因物質　カンピロバクター・ジェジュニ

６　原因施設　　屋　号：鈴基

　　　 所在地：由利本荘市

７　原因食品　１１月４日に調理、提供した食事

８　行政処分　令和５年１１月２８日から１１月２９日まで２日間の営業停止（飲食店営業）

　　　　　　　　（なお、同年１１月２０日に営業を自粛している）

９　経緯

　　令和５年１１月２０日（月）午後３時頃、同施設で喫食した複数名が食中毒様の症状を呈しているとの連絡が由利本荘保健所にありました。

　 由利本荘保健所の調査によると、患者に共通する食品が同施設で喫食した食事のみであること、患者２名の便からカンピロバクター・ジェジュニが検出されたこと、症状がカンピロバクターによる食中毒症状と一致していることから、同施設で調理、提供した食事を原因とする食中毒と断定しました。

**■食中毒「カンピロバクターを検出」長崎市の飲食店が2日間の営業停止処分　鳥刺し、唐揚げ、ピザなど食べた20代の男性客3人が腹痛、下痢、発熱**

**11/28(火) 15:44配信　長崎県長崎市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/223e46afbdc1d86dd2356318250bb2bb0e8d91cf>

　　今月12日、長崎市の飲食店で食中毒が発生し、保健所はこの店を28日から2日間の営業停止処分としました。

食中毒が発生したのは、長崎市船大工町の飲食店「みんなの台所 どんぐり。」です。

長崎市保健所によりますと、今月12日深夜0時頃、この店で鳥刺しや唐揚げ、ピザなどを食べた20代の男性客3人に腹痛や下痢、発熱などの症状が出て保健所が調べたところ、食中毒の原因となるカンピロバクターが検出されたということです。

長崎市保健所は食中毒の原因をこの店と断定し、今日から2日間の営業停止処分としました。

**■焼き肉店で食中毒　男性２人、入院はせず快方に　鳥取県琴浦町**

**11/25(土) 21:19配信　山陰中央新報　鳥取県琴浦町**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/eee3eca0386fa36c44ae3fef84965d4e8e59d78e>

倉吉保健所は２５日、鳥取県琴浦町の焼き肉店で食事をした２０代と５０代の男性計２人が、腹痛や下痢などの症状を訴えたと発表した。保健所はカンピロバクター菌による食中毒と断定し、同店を２５日から５日間の営業停止処分にした。２人とも入院はしておらず、快方に向かっている。

　保健所によると男性２人は１７日午後、７人のグループで来店し、カルビやタン、ハラミなどを食べ、１９日から２０日にかけて発症した。

**■福島の居酒屋で食中毒、今回で3回目　加熱不十分の焼き鳥提供か**

**11/23(木) 10:43配信　福島民友新聞　福島県福島市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7c8cc37107bf3c7f250c739fe2a6cf46ac054e82>

**福島市内の飲食店で食中毒　今年3月にも（福島）**

**11/22(水) 21:09配信　KFB福島放送****福島県福島市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/42e34eadf5a235c7af332a59e18c4993fa47bca5>

**福島市の焼き鳥店で2度目の食中毒　焼き鳥食べた男女3人が症状訴える　営業禁止処分に＜福島県＞　11/22(水) 17:00配信　福島テレビ****福島県福島市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/452dc255071ff8cfd7dc9f62e0c231c4addc81db>

**福島市の居酒屋で今年2回目の食中毒　鶏肉料理食べた3人が腹痛や発熱　カンピロバクター検出　福島　11/22(水) 16:33配信　TUFテレビユー福島****福島県福島市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/519939c157aef3628f8b262c742b82dc294062e9>

**食中毒発生状況（福島市内）　2023/11/14　福島県福島市**

**カンピロバクター**

<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/hoken-shokuhin-eisei/kenko/iryo/shokuhin-eisei/shokuchudoku/27.html>

　発生年月日　2023/11/14

　摂食者数　23

　患者数　3

　原因食品　11月11日に提供された鶏肉料理

　病因物質　カンピロバクター

　血清型等　ジェジュニ

　原因施設　飲食店

**■食中毒事件の発生について　2023/11/8　和歌山県和歌山市**

**カンピロバクター**

<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/054/193/20231108-2.pdf>

　（概要）

令和５年１１月１日（水）１６時５９分頃、市民から和歌山市保健所に「１０月２７日（金）　２０時頃に市内の飲食店で友人と計４名で食事をした後、１０月２９日(日)２０時頃から発熱、腹痛、下痢等の食中毒様症状を呈している。」との届出があった。

調査したところ、上記届出者を含む１グループ４名中３名が有症であることが確認された。これら有症者に共通する食事は当該施設で提供された食事以外にないこと、有症者の発症状況が類似していたこと、有症者を診察した医師から食中毒の届出があったこと、有症者３名全員の便からカンピロバクターが検出されたことにより当該施設での食事を原因とする食中毒と断定した。

　　なお、有症者は全員快方に向かっている。

１ 発生日時 令和５年１０月２９日(日)１１時頃から

２ 有症者数 ３名 女性（１０～２０歳代）

３ 主な症状 腹痛、下痢、頭痛、倦怠感

４ 病因物質 カンピロバクター

５ 原因食品 １０月２７日(金)に当該飲食店で提供された食事

（シーザーサラダ、鶏刺身３種盛（モモ、ムネ、ササミ）、串物（つくね、ねぎま他）等）

６ 原因施設 営業者の氏名 福田楓馬

業 種 飲食店営業（焼鳥屋）

営業所の名称 福家

　　営業所の所在地 和歌山市

７ 原因等についての調査

　　・有症者の喫食状況等の調査

・有症者の検便

・原因施設の検査（施設、調理器具）

８ 措置 食品衛生法に基づき令和５年１１月７日(火)から１１月９日(木)まで３日間の営業停止

※ 和歌山市内でのカンピロバクター食中毒発生状況（令和５年１１月７日現在）テーブル

自動的に生成された説明

**★ウイルスによる食中毒★**

**■高知市の飲食店でノロウイルスによる食中毒　30日から3日間の営業停止処分に**

**11/30(木) 18:04配信　テレビ高知****高知県高知市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/fed504de0da784e3c5b6414704bd85875a07a71c>

**ノロウイルスによる食中毒事件の発生について　令和５年 11 月 30 日（木）**

**高知市保健所生活食品課 食品保健担当　高知県高知市**

**ノロウイルス**<https://www.city.kochi.kochi.jp/uploaded/attachment/138713.pdf>

１ 探知

令和５年 11 月 27 日（月）10：00 頃，11 月 24 日（金）に，うめ丸を利用した者から，同席した複数の者が下痢，腹痛，嘔吐等の症状を呈している旨の電話連絡があり，調査を開始した。

２ 事件の概要

令和５年 11 月 22 日（水）に，当該施設において調理，提供された食事を喫食した１グループ 25 名のうち，17 名が下痢，発熱等の食中毒症状を呈した。令和５年 11 月 24 日（金）に，当該施設において調理，提供された食事を喫食した１グループ 15 名のうち，12 名が下痢，腹痛，発熱等の食中毒症状を呈した。

以下のことから，ノロウイルスによる食中毒事件が発生したと断定した。

・２グループの発症者 29 名に共通する食事は，当該施設において調理，提供された食事のみであったこと。

・２グループの発症者 12 名中 11 名の便から，ノロウイルスＧⅡが検出されたこと。

・当該施設の従事者６名中１名の便から，ノロウイルスＧⅡが検出されたこと。

・医療機関の医師から食中毒患者等届出票の提出があったこと。

・感染症を疑う情報がなかったこと。

３ 発症日時 　11 月 23 日（木）17：00～11 月 26 日（日）23：00

４ 主症状 　下痢，腹痛，発熱

５ 発症者の状況 　男性 22 名（20～50 歳代），女性７名（30～40 歳代）

そのうち，医療機関を受診した者：男性６名，女性２名

　　　　　　　　現在，発症者は快方へ向かっている。

６ 原因施設

（1）施設の名称 　うめ丸

(2) 施設の所在地　 高知市

（4）営業の種類 　飲食店営業

７ 原因食品

令和５年 11 月 22 日（水）及び 11 月 24 日（金）に，当該施設において調理，提供された食事（寿司，刺身，揚げ物，サラダ等）

８ 病因物質 　ノロウイルスＧⅡ

９ 行政措置 　令和５年 11 月 30 日（木）から 12 月２日（土）まで３日間の営業停止処分

10 食中毒発生状況（本件を除く。）テーブル

自動的に生成された説明

11 ノロウイルスによる食中毒予防について

下痢，腹痛，吐き気，嘔吐等を主症状とする急性胃腸炎を起こすウイルスで，潜伏期間は１～２日で，多くは２～３日で回復する。比較的少ないウイルス量で発症し，ヒト→食品→ヒトという経路や，ヒト→ヒトという感染で食中毒を起こすことがある。また，二枚貝（牡蠣など）の生食や加熱不十分なものを食べることで感染する可能性がある。

予防法としては，トイレ後や調理時の十分な手洗い，食品の中心温度 85℃～90℃で 90 秒以上の加熱，が重要である。

**■宇都宮市の弁当業者提供の弁当で１０人が食中毒**

**11月30日　12時25分　栃木 NEWS WEB　栃木県宇都宮市**

**ノロウイルス**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/utsunomiya/20231130/1090016402.html>

**宇都宮の飲食店「弁当　田吾作」で食中毒　法事参列者向けの弁当食べた10人発症　調理従事者からもノロウイルス検出　11/29 20:40　下野新聞「SOON」****栃木県宇都宮市**

**ノロウイルス**

<https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/825591>

**年次別食中毒発生状況（宇都宮市）栃木県　宇都宮市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kurashi/eisei/shokuhin/chudoku/1005534.html>

　発生月　１１月

　摂食者数　14

　患者数　10

　原因食品　仕出し弁当

　病因物質　ノロウイルス

　原因施設　飲食店

　摂取場所　家庭

**★寄生虫による食中毒★**

**■アニサキス…男性客、早朝に胃痛始まる　飲食店で前夜にカキフライ、キンメダイやアジのすし食べていた　医療機関が通報、店は営業停止に 12/1(金) 9:18配信　埼玉新聞　埼玉県深谷市**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e6bd59b61881785039d566789f3d0a2184f1d47c>

**食中毒を発生させた施設の行政処分を行いました　2023/11/30　埼玉県深谷市**

**アニサキス**

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0708/news/page/news2023113001.html>

<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/245793/20231201_news.pdf>

　1 行政処分の内容

熊谷保健所は、食中毒を発生させた(1)の営業者に対して、(2)の営業施設での営業停止の行政処分を本日行った。

(1) 営業者

(2) 営業施設 埼玉県深谷市

(3) 営業の種類 飲食店営業

(4) 違反内容 食品衛生法第6条違反

令和5年11月26日（日曜日）に上記営業施設において調理販売された食事を喫食した4名中1名に対して、胃痛を主症状とするアニサキスによる健康被害を生じさせた。

(5) 処分内容 食品衛生法に基づく営業停止命令

ア 処分年月日 令和5年11月30日（木曜日）

イ 期間 令和5年11月30日（木曜日）の1日間

(6) 病因物質 アニサキス

2 指導内容

熊谷保健所では営業者に対して、食中毒の再発防止を目的に、営業停止期間中、調理従事者への衛生教育等を行う。

3 食中毒事件の概要

(1) 探知

令和5年11月29日（水曜日）に、熊谷市内の医療機関から「胃痛を呈した方からアニサキス様虫体を摘出した」旨の連絡があり、熊谷保健所が調査を開始した。

(2) 調査結果（ 発表日現在 ）

ア 患者の発生状況等

(ア) 喫食者 4名

(イ) 患者 1名 （ 男性 30歳代 ）

(ウ) 喫食日時 令和5年11月26日（日曜日）19時頃

(エ) 初発日時 令和5年11月28日（火曜日）5時

(オ) 主な症状 胃痛

(カ) 喫食メニュー 寿司（キンメダイ、アジ等）、カキフライ、海老の天ぷら等

イ 上記飲食店を食中毒の原因施設と断定した理由

(ア) 患者から摘出された虫体が、アニサキスと鑑定されたこと。

(イ) 原因と考えられる鮮魚介類の喫食が当該施設に限られること。

(ウ) 患者を診察した医師から、食中毒患者等届出票が提出されたこと。

**■渋谷区が飲食店営業施設などに対して行った不利益処分など　2023/11/29　渋谷区**

**アニサキス**

<https://www.city.shibuya.tokyo.jp/jigyosha/jigyo-eisei/jigyo-shokuhin/ihan_kohyo.html>

　公表年月日　令和5年11月29日

施設の業種　飲食店営業

施設の名称　立呑　富士屋本店

施設所在地　東京都渋谷区

処分の根拠条項　食品衛生法第6条第3号

処分を行った理由　食中毒の発生

処分等の内容　令和5年11月29日の1日間営業停止

病因物質・原因食品など

病因物質：アニサキス 原因食品：令和5年11月4日に調理提供した寒ブリ塩たたき

**★自然毒による食中毒★**

**■フグの肝臓を刺身で提供　食べた女性が緊急搬送　神戸市西区の飲食店　食中毒で営業停止5日間／兵庫県　11/28(火) 11:56配信　サンテレビ　兵庫県神戸市**

**動物性自然毒　ふぐ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7da3d681b1a414db207306ea44b00e1d3fb5c2bf>

**フグ肝臓の刺し身を提供、食中毒で女性搬送　神戸・西区の飲食店**

**11/27(月) 21:53配信　神戸新聞NEXT****兵庫県神戸市**

**動物性自然毒　ふぐ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/319148b7d634dcb93857e8cbe25db74f26f058cd>

**食中毒事件の発生　記者資料提供（2023年11月27日）健康局食品衛生課　兵庫県神戸市**

**動物性自然毒　ふぐ**

<https://www.city.kobe.lg.jp/a99427/140770199075.html>

概要

2023年11月27日（月曜）、兵庫県神戸西警察署から神戸市保健所西部衛生監視事務所に「市内医療機関からふぐによる食中毒を疑う患者1名を診察した旨の通報があった。」との情報提供がありました。

調査の結果、11月25日（土曜）に西区の飲食店「舞子や」を利用し、有毒部位である肝臓を含むトラフグのコースを喫食した1グループ5名のうち1名が同日20時頃より嘔吐、手のしびれ等の症状を呈していることが判明しました。

患者がふぐの有毒部位を喫食していること、患者の発症状況がふぐ毒特有のものであること、患者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、神戸市保健所長は当該施設で提供されたトラフグの肝臓を原因とする食中毒と断定し、当該施設に営業停止（11月27日（月曜）から12月1日（金曜）までの5日間）を命じました。

なお、患者は、重篤な状況ではなく、回復しています。

原因施設

業種：飲食店営業

屋号：舞子や（まいこや）

営業所所在地：神戸市

原因食事　11月25日（土曜）に上記施設で提供されたトラフグの肝臓を含む食事

病因物質　ふぐ毒（テトロドトキシン）

喫食日時　11月25日（土曜）18時

発症日時　11月25日（土曜）20時

主症状　嘔吐、手のしびれ、視野狭窄、歩行困難

患者の状況　1名（女1名：42才）　住所別：市内　計1名（西区1名）

主な喫食内容

トラフグのコース（ふぐ刺身（身、肝臓、皮）、ふぐ寿司、ふぐの唐揚げ、白子焼、てっちり、雑炊等）

**■食中毒で２人入院　激しい筋肉痛や発熱、魚の毒か　群馬・前橋市　2023/11/26 06:00**

**上毛新聞****群馬県前橋市**

**動物性自然毒　ブダイ　パリトキシン**

<https://www.jomo-news.co.jp/articles/-/381066>

**食中毒の発生について (令和5年11月21日(火曜日)発生）　群馬県前橋市**

**動物性自然毒　ブダイ　バリトキシン**

<https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/kenko/eiseikensa/gyomu/5/1/1/39147.html>

前橋市内の医療機関から、「市内の飲食店が提供した食品が原因の食中毒疑いの患者が入院している」旨の電話連絡があり、調査しました。

その結果、下記の対象施設で提供された食品を原因とする【動物性自然毒（パリトキシン様毒(推定)）】による食中毒と断定しました。

事件の概要は以下のとおりです。

概要

原因施設

施設名：有限会社みやたや

所在地：前橋市

違反内容　食品衛生法第6条第2号違反（有毒物質が含まれる食品の提供による食中毒発生）

調査結果

令和5年11月21日（火曜日）昼に、原因施設で提供された食品を喫食した2人のうち2人が症状を呈していることを確認し、以下のことが判明しました。

発症者は、当該施設が提供した食品を喫食後に中毒症状を呈しました。

発症者の症状は、パリトキシン様毒を摂取したことによる食中毒症状及び潜伏期間と一致しました。

当該施設で喫食した食品の他に中毒症状を呈する食品がありませんでした。

発症者を診察した医師から食中毒発生届が提出されました。

以上により、当該施設で提供された食品を原因とする食中毒事件と断定しました。

施設の措置

営業停止命令3日間（令和5年11月25日（土曜日）から令和5年11月27日（月曜日）まで）

指導内容　残品の撤去及び営業者への衛生指導

パリトキシン様毒

パリトキシン様毒はアオブダイ属アオブダイやハコフグ属ハコフグなどの有毒魚に含まれます。加熱調理しても毒性は失われず、加熱調理により毒成分は煮汁などに移行すると考えられています。

主症状は横紋筋の融解に由来する激しい筋肉痛（横紋筋融解症）で、しばしば黒褐色の排尿（ミオグロビン尿症）を伴うこともあります。また、重篤な場合には死に至ることもあります。

1953年から2020年にかけて、少なくとも46件の発生があり、患者総数は145名（うち死亡者8名）となります。

主な原因食品

ブダイ科アオブダイ属アオブダイ、ハコフグ科ハコフグ属ハコフグ、ブダイ科ブダイ属ブダイ、ハコフグ科コンゴウフグ属ウミスズメなど

発病までの時間、及び主な症状

潜伏期間おおむね 12～24時間。横紋筋融解症、ミオグロビン尿症、呼吸困難、歩行困難、胸部の圧迫、麻痺、けいれんなど。

予防・対策　有毒魚の喫食を避ける以外に明確な予防法はありません。

健康部 衛生検査課 食品衛生係

電話：027-220-5778 ファクス：027-223-8835

群馬県前橋市朝日町三丁目36番17号

**■令和5年　大阪市食中毒発生状況　2023/11/23　大阪府大阪市**

**動物性自然毒　ふぐ**

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000595557.html>

　発生年月日　2023/11/23

　患者数　2

　原因食品　ふぐ

　病因物質　テトロドトキシン

　原因施設等　自宅

**報道発表資料　ふぐによる食中毒の発生について（注意喚起）　2023/11/29　大阪府大阪市**

<https://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryo/kenko/0000612996.html>

　令和5年11月29日　14時発表

　　令和5年11月24日（金曜日）9時30分頃、大阪市内の医療機関からふぐを食べたことによる食中毒が疑われる患者を診察したとの届出が大阪市保健所にありました。

　　調査したところ、患者は大阪市内に在住している夫婦（以下「当該患者」という。）で、夫が令和5年夏頃に福井県へ釣りに行った際、別の人が釣ったふぐを1匹譲り受け、自宅でさばいて冷凍保存し、11月23日（木曜日・祝日）18時頃に自宅で「ふぐ鍋」として二人で喫食したところ、同日19時40分頃に妻が両手と口の麻痺（まひ）及び嘔吐（おうと）の症状を呈したため、医療機関に救急搬送されました。その後、付き添っていた夫も口と四肢の麻痺を呈し、入院となりました。

　　本件については、「当該患者の症状がふぐ毒（テトロドトキシン）による食中毒の症状と一致していること」、「当該患者の血清及び尿からテトロドトキシンが検出されたこと」、「喫食物の残品から中毒症状を引き起こすに相当する量のテトロドトキシンが検出されたこと」、「11月29日（水曜日）の地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所による鑑別の結果、喫食物の残品がマフグであることが判明したこと」、「当該患者を診察した医師からふぐを喫食したことによる食中毒との届出があったこと」などから、ふぐによる食中毒と断定しました。

　　ふぐは体内にテトロドトキシンを持っており、これを含む部位（有毒部位）を食べたことを原因とする食中毒が、全国で毎年発生し、死者も出ています。ふぐによる食中毒の約8割以上は、家庭等で発生しており、その原因のほとんどは、釣ったり、もらったりしたふぐを素人調理したことによるものです。ふぐの素人調理は大変危険ですので、絶対に行わないでください。

調査概要

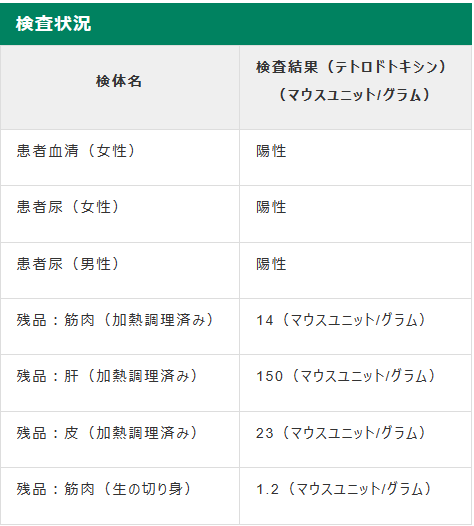
発症者の状況　発症者数：2名〔女性（70歳代）、男性（80歳代）〕

受診者数：2名〔うち1名は現在も入院中〕

主症状　麻痺、嘔吐

病因物質　テトロドトキシン

原因食品　ふぐ（マフグ）



　（注）マウスユニット：毒量をあらわす単位で、体重20グラムのマウスを30分で死亡させる　量が1マウスユニット。体重50キログラムの成人に対するふぐ毒の最小致死量は約10,000マウスユニット。組織1グラムあたり10マウスユニットを超えるものは食用不適。

問合せ先

　　本件に関する検査の技術的な事柄については、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所までお問い合わせください。

担当：地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所　公衆衛生部健康危機管理課

電話：06-6972-1327

大阪市における食中毒発生状況

令和5年11月28日（火曜日）時点の食中毒：10件 （本件を含まず）

令和4年11月28日（月曜日）時点の食中毒：9件

（食中毒発生状況の年次集計は、毎年1月1日からの統計です）

（注）ふぐによる食中毒（過去5年間）：1件

**ふぐによる食中毒について**

ふぐ毒の主成分であるテトロドトキシンは熱に強いため通常の加熱では毒性はなくならず、毒性の強さは青酸カリの1,000倍以上ともいわれています。

テトロドトキシンは神経を麻痺させる神経毒で、ふぐ中毒は食後20分から3時間程度の短時間で発症し、重症の場合は呼吸困難で死亡することがあります。また、発症してから死亡するまでの時間が短いのが特徴です。

ふぐ中毒には確実な治療法はなく、対症療法しかありません。

ふぐの毒化のメカニズムは現在においても解明されておらず、ふぐ毒の毒力や毒量には個体差があり、ふぐの種類や各種部位、雌雄などによっても異なります。また、漁獲海域や季節によっても差があるため、一度食べてふぐ中毒を発症しなかったからといって、この次も大丈夫だという保証はありません。

予防対策としては、釣ったり、もらったりしたふぐを素人調理せず、専門の知識を持った「ふぐ処理登録者」などによって確実に有毒部位が除去されたものを食べるようにしてください。

**★化学物質による食中毒★**

**■**

**★細菌による感染症★**

**■都城の保育所でO111腸管出血性大腸菌感染症の集団感染発生**

**11/30(木) 19:06配信　MRT宮崎放送　宮崎県都城市**

**感染症　腸管出血性大腸菌感染症「O111」**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/70ac66250da30367c3e210214339ec1eadf56333>

**腸管出血性大腸菌感染症の集団発生について　2023/11/30　宮崎県都城市**

**感染症　腸管出血性大腸菌感染症「O111」**

<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/kansensho-taisaku/press/2023/11/20231129190612.html>

都城市の保育所の園児1名について、11月25日までに、腸管出血性大腸菌感染症（O111）の発生届がありました。

都城保健所が疫学調査、検便検査を実施したところ、11月29日に4名の感染者が確認され、計5名の集団発生となりました。

腸管出血性大腸菌感染症は、抵抗力の弱い子どもや高齢者が感染すると重症になることがあるため、手洗いなど日頃の予防対策の励行に努めましょう。

　1発生の概要

医療機関からの届出　令和5年11月25日：1歳男児1名(症状：下痢）

疫学調査及び便検査の結果　本人及び患者家族、保育所に対する疫学調査を実施。

保育所における便検査の状況については、下表のとおり。(11月29日時点。医療機関で判明した11月25日の発生1名は含まない。)



　令和5年11月29日判明。

2二次感染防止の措置

1.本人、患者家族及び保育所に対する疫学調査、便検査を実施。

2.手洗い、消毒等の感染防止対策について指導。

3.便検査の結果、感染が確認された者や有症状者に対して医療機関受診を指導。

　3腸管出血性大腸菌感染症について

感染経路・病原体

感染経路：経口感染

病原体：腸管出血性大腸菌

腸管出血性大腸菌に汚染された食品や感染者の糞便に含まれる腸管出血性大腸菌によって感染します。

症状　潜伏期間：2～9日

症状：腹痛や水様性の下痢、血便を引き起こします。

注意：抵抗力の弱い子どもや高齢者は溶血性尿毒症症候群（HUS）等の合併症を起こすことがあります。

**治療・その他**

特別な治療法はなく、対症療法が中心となります。

早期に診断、治療を受けることで重症化や二次感染を防ぐことにつながります。有症時は医療機関を受診しましょう。

感染症の予防や患者の医療に関する法律により、病原体を保有しなくなるまで、飲食物を取扱う業務等への就業が制限されます。

学校保健安全法により、学校医その他の医師において感染の恐れがないと認められるまで、出席停止となります。

**予防**

流水と石けんにより丁寧に手洗いを行い、清潔なタオルやペーパータオルで手を拭きましょう。

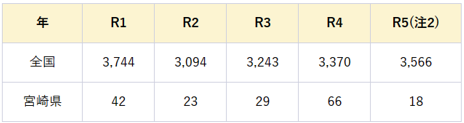
浴槽は洗浄して清潔を保ち、浴槽に入る前には肛門部を十分に洗いましょう。下痢症状がある場合は、入浴を控えるか、またはシャワー浴か最後に入浴しましょう。

汚染部分や人の手が触れる部分を消毒用アルコール等で丁寧に消毒しましょう。

生鮮食品は新鮮なものを購入し賞味期限を守る、十分に加熱して調理する、調理器具は家庭用漂白剤や熱湯により消毒するなど食品の取扱いに注意しましょう。

4参考

　　過去5年間の腸管出血性大腸菌感染症の発生状況（人）



　　（注2）R5については、全国は第46週時点、宮崎県は第47週時点

**■腸管出血性大腸菌感染症の入院事例について（令和5年11月25日）　福岡県大川市**

**感染症　腸管出血性大腸菌（Ｏ１５７ ＶＴ１ＶＴ２＋）**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/tyoukansyukketusei051125.html>

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/207617.pdf>

　　令和５年１１月２５日、南筑後保健福祉環境事務所に、管内の医療機関から腸管出血性大腸菌感染症の届出があり、患者が入院していることが判明しましたのでお知らせします。

１ 患者

（１）年齢等　６２歳、女性、大川市在住

（２）経過

　　１１月２０日 腹痛、下痢が出現。

　　１１月２１日 血便が出現したため、Ａ医療機関を受診。

　　１１月２２日 症状が継続したためＢ医療機関を受診し、同日入院。

　　１１月２５日 検査の結果、腸管出血性大腸菌（Ｏ１５７ ＶＴ１ＶＴ２＋）の感染が判明。

　　　　　　　　現在、治療中であり、症状は改善傾向にある。

２ 原因　調査中。

３ 行政対応

　　患者及び家族に対し健康調査、疫学調査を実施し、二次感染予防の指導を行っている。

※ 腸管出血性大腸菌感染症患者・無症状病原体保有者（保菌者）の届出状況

（北九州市・福岡市・久留米市を除く）（令和５年１１月２５日現在）アプリケーション

中程度の精度で自動的に生成された説明

**★ウイルスによる感染症★**

**■感染性胃腸炎（疑い）による川崎市立学校の臨時休業について　2023/11/30**

**神奈川県川崎市**

**感染症　感染性胃腸炎**

<https://www.city.kawasaki.jp/templates/press/cmsfiles/contents/0000156/156466/R051130.pdf>

　　令和５年１１月３０日（木）、川崎市立東小倉小学校（幸区）において感染性胃腸炎（疑い）の症状により複数の児童が欠席したことから、次のとおり臨時休業措置を行いますので、お知らせします。

１ 対 象

川崎市立東小倉小学校（校長 安 藤　勉）１年２組

所在地 幸区東小倉 １－１

２ 臨時休業期間　令和５年１２月１日（金）

３ 欠席の状況　在籍者 ３０人　嘔吐・腹痛による欠席の者 １４人

４ 今後の対応　校内の消毒を行い、引き続き児童の健康観察を行ってまいります。

**■感染性胃腸炎の集団発生について　令和５年１１月３０日 １５：３０現在**

**保健医療局 健康医療部 保健予防課　福岡県福岡市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/115084/1/051130noro.pdf?20231130152454>

城南区内の保育施設で、複数の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈しているとの報告があり、医療機関による検査の結果、ノロウイルスが検出された。

１ 城南区内の保育施設

（１）経緯

１１月２７日（月）２名の園児に嘔吐、下痢の症状が出現。

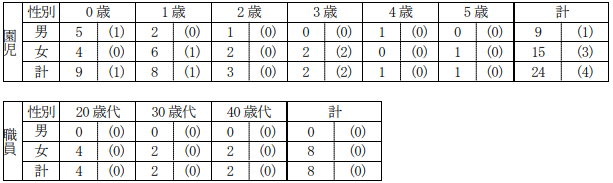
以後、複数の園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状が出現。

１１月２９日（水）当該施設より、複数の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈しており、医療機関による検査の結果ノロウイルスが検出されたと報告があった。

城南保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を指導した。

１１月３０日（木）城南保健所が有症状者の発生状況を確認し、感染拡大防止を再度指導した。

（２）有症状者の区分 ※( )内の数は、有症状者のうち、ノロウイルスが検出された人数



（３）有症状者の発症状況



（４）症状　嘔吐、下痢、発熱、腹痛 ※重症者はなく、全員快方に向かっている。

（５）行政対応

① 施設への感染予防及び拡大防止のための指導を実施。

② 園児及び家族、職員の健康調査及び健康観察を実施するよう施設へ指導

**■感染性胃腸炎の集団発生について　令和５年１１月２９日 １６：３０現在**

**保健医療局 健康医療部 保健予防課　福岡県福岡市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/115084/1/051129-1noro.pdf?20231129162837>

城南区内の児童福祉施設で、複数の児童及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈しているとの報告があり、医療機関による検査の結果、ノロウイルスが検出された。

１ 城南区内の児童福祉施設

（１）経緯

１１月１６日（木） １名の児童に嘔吐、下痢の症状が出現。

以後、複数の児童及び職員に嘔吐、下痢等の症状が出現。

１１月２８日（火） 当該施設より、複数の児童及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈してお り、医療機関による検査の結果ノロウイルスが検出されたと報告があった。

城南保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を指導した。

１１月２９日（水） 城南保健所が有症状者の発生状況を確認し、感染拡大防止を再度指導した。

（２）有症状者の区分 ※( )内の数は、有症状者のうち、ノロウイルスが検出された人数

テーブル

自動的に生成された説明

（３）有症状者の発症状況



（４）症状　嘔吐、下痢、発熱 ※重症者はなく、全員快方に向かっている。

（５）行政対応

① 施設への感染予防及び拡大防止のための指導を実施。

② 児童及び家族、職員の健康調査及び健康観察を実施するよう施設へ指導

**■感染性胃腸炎の集団発生について　令和５年１１月２８日 １５：００現在**

**保健医療局 健康医療部 保健予防課　　福岡県福岡市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/115084/1/051128noro.pdf?20231129162837>

博多区内の保育施設で、複数の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈しているとの報告があり、医療機関による検査の結果、ノロウイルスが検出された。

１ 博多区内の保育施設

（１）経緯

１１月２３日（木） ２名の園児に嘔吐の症状が出現。

以後、複数の園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状が出現。

１１月２７日（月） 当該施設より、複数の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈しており、医療機関による検査の結果ノロウイルスが検出されたと報告があった。

博多保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を指導した。

１１月２８日（火） 博多保健所が有症状者の発生状況を確認し、感染拡大防止を再度指導した。

（２）有症状者の区分 ※( )内の数は、有症状者のうち、ノロウイルスが検出された人数

テーブル

自動的に生成された説明

テーブル

自動的に生成された説明

（３）有症状者の発症状況



（４）症状　嘔吐、下痢、発熱、腹痛 ※重症者はなく、全員快方に向かっている。

（５）行政対応

① 施設への感染予防及び拡大防止のための指導を実施。

② 園児及び家族、職員の健康調査及び健康観察を実施するよう施設へ指導。

**■感染性胃腸炎の集団発生について　令和５年１１月２８日 １５：３０現在**

**保健医療局 健康医療部 保健予防課　福岡県福岡市**

**感染症　ノロウイルス**<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/115084/1/051128noro2.pdf?20231129162837>

東区内の保育施設で、複数の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈しているとの報告があり、行政検査の結果、ノロウイルスが検出された。

１ 東区内の保育施設

（１）経緯

１１月１６日（木） １名の園児に嘔吐の症状が出現。

以後、複数の園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状が出現。

１１月２４日（金） 当該施設より、複数の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈していると報告があった。

東保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を指導した。

１１月２７日（月） 行政検査の結果、ノロウイルスが検出された。

東保健所が有症状者の発生状況を確認し、感染拡大防止について再度指導した。

１１月２８日（火） 東保健所が有症状者の発生状況を確認し、感染拡大防止について改めて指導した。

（２）有症状者の区分 ※( )内の数は、有症状者のうち、ノロウイルスが検出された人数

テーブル

自動的に生成された説明

テーブル

自動的に生成された説明

（３）有症状者の発症状況



（４）症状　嘔吐、下痢、発熱、腹痛 ※重症者はなく、全員快方に向かっている。

（５）行政対応

① 施設への感染予防及び拡大防止のための指導を実施。

② 園児及び家族、職員の健康調査及び健康観察を実施するよう施設へ指導

**■感染性胃腸炎の集団発生について　令和５年１１月２４日 １５：００現在**

**保健医療局 健康医療部 保健予防課****福岡県福岡市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/115084/1/051124noro.pdf?20231124191947>

西区内の保育施設で、複数の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈しているとの報告があり、医療機関による検査の結果、ノロウイルスが検出された。

１ 西区内の保育施設

（１）経緯

１１月１８日（土） １名の園児に嘔吐の症状が出現。

以後、複数の園児に嘔吐、下痢等の症状が出現。

１１月２２日（水） 当該施設より、複数の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈しており、医療機関による検査の結果ノロウイルスが検出されたと報告があった。

西保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を指導した。

１１月２４日（金） 西保健所が有症状者の発生状況を確認するとともに、感染拡大防止等を改めて指導した。

（２）有症状者の区分 ※( )内の数は、有症状者のうち、ノロウイルスが検出された人数

テーブル

自動的に生成された説明

（３）有症状者の発症状況



（４）症状　嘔吐、下痢、発熱、腹痛 ※重症者はなく、全員快方に向かっている。

（５）行政対応

① 施設への感染予防及び拡大防止のための指導を実施。

② 園児及び家族、職員の健康調査及び健康観察を実施するよう施設へ指導

**■感染性胃腸炎の集団発生について　令和５年１１月２４日 １６：００現在**

**保健医療局 健康医療部 保健予防課　　福岡県福岡市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/115084/1/051124-2noro.pdf?20231124191947>

東区内の高齢者施設で、複数の入所者及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈しているとの報告があり、医療機関による検査の結果、ノロウイルスが検出された。

１ 東区内の保育施設

（１）経緯

１１月１８日（土） １名の入所者に嘔吐、下痢等の症状が出現。

以後、複数の入所者及び職員に嘔吐、下痢等の症状が出現。

１１月２４日（金） 当該施設より、複数の入所者及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈しており、医療機関による検査の結果ノロウイルスが検出されたと報告があった。

東保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を指導した。

（２）有症状者の区分 ※( )内の数は、有症状者のうち、ノロウイルスが検出された人数

テーブル

自動的に生成された説明

テーブル

自動的に生成された説明

（３）有症状者の発症状況



（４）症状　嘔吐、下痢、発熱 ※重症者はなく、全員快方に向かっている。

（５）行政対応

① 施設への感染予防及び拡大防止のための指導を実施。

② 入所者及び職員の健康調査及び健康観察を実施するよう施設へ指導。

**■宗像市の保育施設　園児ら６８人が感染性胃腸炎集団感染か**

**11月22日　21時09分　福岡 NEWS WEB****福岡県宗像市**

**感染症　ウイルス性胃腸炎**

<https://www3.nhk.or.jp/fukuoka-news/20231122/5010022540.html>

**保育施設における感染性胃腸炎の集団発生について（令和５年１１月２２日）　福岡県宗像市**

**感染症　ウイルス性胃腸炎**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/noro20231124.html>

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/207570.pdf>

　　令和５年１１月１７日、宗像・遠賀保健福祉環境事務所管内の保育施設（宗像市内）から、複数の園児及び職員が嘔吐、下痢、腹痛の症状を呈しているとの報告がありましたのでお知らせします。

１ 発生状況

1. 初発患者の発症日：１１月１６日
2. １１月２２日までの発症者数

園 児 ６３名（内訳は下表のとおり）

職 員 ５名（内訳は下表のとおり）

テーブル

自動的に生成された説明

テーブル

自動的に生成された説明

1. 主な症状： 嘔吐、下痢、腹痛。１２名が嘔吐下痢症、１名がウイルス性胃腸炎との診断。

　　　　なお、重症者はいない。

テーブル

自動的に生成された説明

　２ １１月２２日時点の有症状者数　１７名（園児 １７名、職員 ０名）

３ 原因　現在調査中

４ 行政対応

　　　宗像・遠賀保健福祉環境事務所が当該施設に対して、健康調査及び疫学調査を実施の上、まん延防止の指導を行っている。

**■ノロウイルス集団感染で62人がおう吐や下痢の症状 伊万里保健福祉事務所管内の福祉施設【佐賀県】11/22(水) 18:52配信　佐賀ニュース サガテレビ****佐賀県伊万里市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/cc311af2111e833b1f889f07e32178d4534ced15?source=sns&dv=pc&mid=other&date=20231122&ctg=loc&bt=tw_up>

**感染性胃腸炎に注意しましょう　2023/11/22　健康福祉政策課　感染症対策担当**

**佐賀県伊万里市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00399871/index.html>

　感染性胃腸炎の集団発生が、伊万里保健福祉事務所管内で確認されました。

これから、ノロウイルス等を含む感染性胃腸炎の発生が増加する時期です。手洗いの徹底や食材等の十分な加熱を心がけ、予防に努めましょう。

感染性胃腸炎の原因となるノロウイルス等は、感染者のおう吐物や糞便の不適切な処理や不十分な手洗いなどで人から人へ二次感染を起こしやすく、集団生活の場では特に注意が必要です。

また、おう吐や下痢の症状が出るため、特に高齢者や子どもは、脱水などを起こし、重症化することがありますので御注意ください。

記

1　発生の概要

（1）疾病名　　感染性胃腸炎（五類感染症）

（2）発生場所　伊万里保健福祉事務所管内の社会福祉施設

（3）患者数　　62名（利用者52名、職員10名）

（4）患者の状況

　　・11月14日から11月21日までに62名がおう吐や下痢を発症した。

・発症した者の中に、重症者（入院者）はいない。

　　・11月21日に衛生薬業センターで検査を実施し、発症した3名の便からノロウイルスが検出された。

2　伊万里保健福祉事務所の対応

当該施設を訪問し、感染拡大防止（施設内の消毒の徹底、おう吐物や排泄物の適切な処理、手洗いの実施など）について指導した。

＜参考＞

【感染性胃腸炎に注意しましょう】

感染性胃腸炎は、特定の原因に基づくものではなく、多種多様な病原体（細菌、ウイルス、寄生虫など）によって引き起こされます。

初冬から春先までに発生がみられるものの多くは、ノロウイルスやロタウイルス等が原因と考えられます。

　感染性胃腸炎の主な原因ウイルスであるノロウイルスの予防方法等を紹介します。

■症 状

(1) ノロウイルスに感染もしくはノロウイルスを含んだ食品を摂取すると、1～2日後に吐き気、おう吐、下痢、腹痛、発熱などの症状が見られます。

(2) 3日間程度で回復しますが、高齢者や乳幼児では脱水症状などを起こして重症化する場合がありますので、特に注意が必要です。

(3) ウイルスの排泄は、数週間続く場合があります。

■主な感染経路

(1) 汚染された貝類（二枚貝など）を生あるいは十分に加熱せず食べることで感染します。

(2) 感染した食品取扱者を介して、食品が汚染され、その食品を食べた人が感染します。

(3) おう吐物や糞便で汚染された人の手などを介して、人から人へ感染します。

■感染防止のポイント（基本的にはロタウイルスも同様です。）

≪県民の皆様方へ≫

(1) 手洗いは予防の基本です。（調理前、トイレの後など石鹸で十分な手洗いをしましょう。）

(2) 下痢・おう吐のある患者に接する注意点

　　　・石鹸でこまめに手を洗いましょう。（特に用便後）

　　　・患者がおう吐した部屋には、立ち入る人を最小限にし、窓があれば換気をしてください。

　　　・おう吐物、糞便等を処理する際は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用のうえ処理しましょう。

　　　・汚物の付着した床などは、汚物を十分に取り去ってから、次亜塩素酸ナトリウム水溶液で消毒しましょう。

(3) 二枚貝については、なるべく生食を避け、加熱して食べましょう。

(4) 食品を加熱する際は、食品の中心部まで十分に加熱調理しましょう。

≪食品取扱従事者の皆様方へ≫

(1) 手洗いを励行し、使い捨ての手袋を着用しましょう。

(2) 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を取り扱う作業を避けましょう。

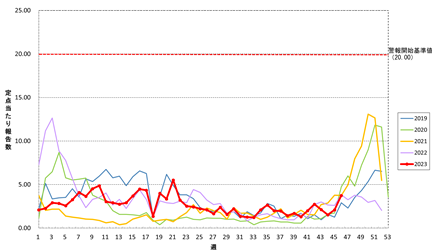
(3) 貝類などを処理した調理器具からの食品汚染を防止しましょう。

≪保育所・学校・児童施設・高齢者施設等の施設関係の皆様方へ≫

(1) 日頃から健康観察の情報を集約し発生状況を把握しましょう。

(2) 感染性胃腸炎の集団発生が疑われる場合は、施設管理医に報告すると共に、速やかに保健福祉事務所（保健所）に連絡・相談しましょう。

≪佐賀県における感染性胃腸炎の定点当たりの患者報告数≫



**■感染性胃腸炎の集団発生について　令和５年１１月２２日 １５：３０現在**

**保健医療局 健康医療部 保健予防課　福岡県福岡市**

**感染症　ノロウイルス**<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/115084/1/051122noro.pdf?20231124191947>

南区内の保育施設で、複数の園児及び職員が嘔吐、発熱の症状を呈しているとの報告があり、行政検査の結果、ノロウイルスが検出された。

１ 南区内の保育施設

（１）経緯

１１月１０日（金）２名の園児に嘔吐、発熱の症状が出現。

以後、複数の園児及び職員に嘔吐、発熱の症状が出現。

１１月２０日（月）当該施設より、複数の園児及び職員が嘔吐、発熱の症状を呈していると報告があった。

南保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を指導した。

１１月２１日（火）行政検査の結果、ノロウイルスが検出された。

南保健所が有症状者の発生状況を確認し、感染拡大防止を再度指導した。

１１月２２日（水）南保健所が有症状者の発生状況を確認するとともに、感染拡大防止等を改めて指導した。

（２）有症状者の区分 ※( )内の数は、有症状者のうち、ノロウイルスが検出された人数

テーブル

自動的に生成された説明

テーブル

自動的に生成された説明

（３）有症状者の発症状況



（４）症状　嘔吐、発熱 ※重症者はなく、全員快方に向かっている。

（５）行政対応

① 施設への感染予防及び拡大防止のための指導を実施。

② 園児及び家族、職員の健康調査及び健康観察を実施するよう施設へ指導。

**■感染性胃腸炎の集団発生について　令和５年１１月２１日 １６：００現在**

**保健医療局 健康医療部 保健予防課　福岡県福岡市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/115084/1/051121noro.pdf?20231124191947>

早良区内の保育施設で、複数の園児が嘔吐、下痢の症状を呈しているとの報告があり、医療機関による検査の結果、

ノロウイルスが検出された。

１ 早良区内の保育施設

（１）経緯

１１月１３日（月） １名の園児に嘔吐、下痢の症状が出現。

以後、複数の園児に嘔吐、下痢の症状が出現。

１１月１５日（水） 当該施設より、複数の園児が嘔吐、下痢の症状を呈しており、医療機関による検査の結果ノ

ロウイルスが検出されたと報告があった。

早良保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を指導した。

１１月１６日（木）、１７日（金）、２０日（月）

当該施設より、新たな有症状者が発生していると報告があった。

早良保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を再度指導した。

１１月２１日（火） 早良保健所が有症状者の発生状況を確認するとともに、感染拡大防止等を改めて指導した。

（２）有症状者の区分 ※( )内の数は、有症状者のうち、ノロウイルスが検出された人数

テーブル

自動的に生成された説明

（３）有症状者の発症状況



（４）症状

嘔吐、下痢 ※重症者はなく、全員快方に向かっている。

（５）行政対応

① 施設への感染予防及び拡大防止のための指導を実施。

② 園児及び家族、職員の健康調査及び健康観察を実施するよう施設へ指導。

**■感染性胃腸炎の集団発生について　令和５年１１月２０日 １６：００現在**

**保健医療局 健康医療部 保健予防課　福岡県福岡市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/115084/1/051120noro.pdf?20231124191947>

城南区内の保育施設で、複数の園児及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈しているとの報告があり、医療機関による検

査の結果、ノロウイルスが検出された。

１ 城南区内の保育施設

（１）経緯

１１月１４日（火）２名の園児に嘔吐の症状が出現。

以後、複数の園児及び職員に嘔吐、下痢等の症状が出現。

１１月１６日（木）当該施設より、複数の園児が嘔吐、下痢等の症状を呈しており、医療機関による検査の結果ノロウイルスが検出されたと報告があった。

　　　　　　　　　　城南保健所が感染拡大防止及び患者等の健康観察の実施を指導した。

１１月２０日（月）城南保健所が有症状者の発生状況を確認し、感染拡大防止を再度指導した。

（２）有症状者の区分 ※( )内の数は、有症状者のうち、ノロウイルスが検出された人数

テーブル

自動的に生成された説明

テーブル

自動的に生成された説明

（３）有症状者の発症状況



（４）症状 　嘔吐、下痢、発熱、腹痛 ※重症者はなく、全員快方に向かっている。

（５）行政対応

① 施設への感染予防及び拡大防止のための指導を実施。

② 園児及び家族、職員の健康調査及び健康観察を実施するよう施設へ指導。**★その他の感染症★**

**■**

**★違反食品・回収等★**

**■豊後高田市の会社製造「ミネラルウォーター」から基準を超える臭素酸　回収命令　大分**

**11/30(木) 19:08配信　TOSテレビ大分****大分県豊後高田市**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a28a21df95d4ca22a18ce84081f77e3c3c9ddccf>

**清涼飲料水(ナチュラルミネラルウォーター)の回収等について　2023/11/30**

**大分県豊後高田市**

<https://www.pref.oita.jp/site/suishin/kennnaikaisyu.html>

　令和５年１１月３０日、県西部保健所が株式会社アンドウ・ラボに対し、清涼飲料水（ナチュラルミネラルウォーター：製品名　シリカシリカ）の回収命令を行いましたので、お知らせします。

１　回収する食品の情報

（１）製造者

　　　株式会社アンドウ・ラボ　代表取締役　安藤 重喜

　　　（申請者住所：大分県豊後高田市新地１５７０番地３）

　　　（製造所住所：大分県玖珠郡玖珠町森字小場４１７２）

（２）販売先

　　 　オンガネジャパン株式会社（山口県下関市長府港町10-63）

（３）回収等の対象品

　　　　シリカシリカ（清涼飲料水（ナチュラルミネラルウォーター））

　　　　　・賞味期限：２０２５年７月

　　　　　・回収対象ロット：キャップに「25.07+AP/BC」と記載のあるもの

　　　　　・対象商品数：１４６，８８０本（24本入り６，１２０ケース）

（４）違反事項

　　　食品衛生法第１３条第２項

　　　　（詳細）臭素酸0.023mg/L検出

　　　　（参考）ミネラルウォーター類のうち殺菌又は除菌を行うものの成分規格

　　　　　　　　臭素酸（基準値）：0.01mg/L以下

２　措置

　県西部保健所は製造者に対し製品の回収を食品衛生法第５９条第１項に基づき命令した。

3　省略

4　回収に関する連絡先

　　オンガネジャパン株式会社　お客様窓口

　　　山口県下関市長府港町10-63

　　　連絡先：0120-771-933

　返品先

　　　オンガネジャパン株式会社

　　　山口県下関市長府港町10-63

このページに関するお問い合わせ先

食品・生活衛生課

〒870-8501 大分市大手町３－１－１　大分県庁舎別館５Ｆ

食品衛生班

Tel：097-506-3056

**■「腫瘍やアトピーに効く」飲料水を違法販売か　82歳会社社長を逮捕**

**11/30(木) 12:07配信　毎日新聞　港区**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d110a671699514f51480c4ec11e7b31fc43926e1>

**■ふぐの稚魚が混入している疑いのある「白す干」を販売　食べると健康被害の恐れ　回収を呼びかけ《新潟》　2023年11月29日 14時17分　TeNYテレビ新潟ニュース**

**新潟県新潟市**

<https://news.livedoor.com/article/detail/25438275/>

**ふぐの稚魚（疑い）が混入しているおそれのある「白す干」の自主回収について　2023/11/29　新潟県新潟市**

<https://www.city.niigata.lg.jp/iryo/shoku/oshirase/20231128hugu.html>

　　令和5年11月28日（火曜日）15時頃、市内販売店から「店舗で小分け販売した「白す干」にふぐの稚魚と疑われるものが混入していた」旨の連絡が新潟市保健所にありました。

　　当該商品については、11月28日より販売店が店頭告知を行い、自主回収を行っています。

　ふぐの稚魚が混入していた場合、食べるとしびれなどの健康被害が発生する恐れがあります。

　　当該商品がお手元にある場合には、食べずに販売店にお知らせください。

　　なお、現時点で健康被害の報告はありません。

回収対象商品

品名　　　　　　白す干　兵庫県産　解凍

包装形態　　　　トレーラップ包装

保存方法　　　　10℃以下

加工日　　　　　11月23日

賞味期限　　　　11月30日

加工者　　　　　(有)川松食品　横越店

　　　　　　　　　　ひらせいホームセンター生鮮広場　横越店

加工所所在地　　新潟市江南区いぶき野2丁目1番1号

販売状況

販売期間 　11月23日から11月28日

販売数　　 28パック

回収に関する連絡先

名称　　　ひらせいホームセンター生鮮広場　横越店

所在地　　新潟市江南区いぶき野2丁目1番1号

連絡先　　025-385-5337

受付時間　9時30分から19時30分

市民の皆様へ

購入した魚介類等に種類の違うものが混入していた場合は、食べずに購入した販売店にお知らせください。

営業者の皆様へ

魚介類や魚介類加工品を小分けして販売する際は、ふぐなどの有毒魚の混入がないよう目視確認を徹底し、確実に選別を行ってください。

**■岩手県産小麦から基準超える「カビ毒」　2022年産の一部　自主回収進める　老舗の南部せんべい店も休業余儀なく　11/29(水) 12:04配信　IBC岩手放送**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/fca95abaddbdd249335809626f679dbe3c763b10>

**■【香港】輸入規制違反か、東京で製造のかつお節**

**11/24(金) 11:30配信　NNA**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/198b4d08c2e492a3f6e31f05bb6d93f45fbd0f53>

**■札幌北区のスーパー販売 しらす干しにふぐ稚魚混入 毒性不明**

**11月20日　18時07分　北海道 NEWS WEB　佐藤先生からいただいた情報です**

<https://www3.nhk.or.jp/sapporo-news/20231120/7000062663.html>

**■違反食品等に係る行政処分　2023/11/17　兵庫県加古川市**

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf14/hw14_000000020.html>

　処分年月日　2023/11/17

　業種及び施設名称【営業者名称】等　食品輸入業　株式会社神戸物産

　施設所在地　加古川市

　主な適用条項　法第12条

　行政処分を行った理由

使用が認められていない食品添加物であるTBHQ（ターシャリーブチルヒドロキノン）を検出（検出値0.004g/kg）

　行政処分の内容　回収命令

　対象品等　ハニーバターポップコーン　賞味期限が2024.03.04と表示されたもの

**★その他関連ニュース★**

**■保育所で「牛乳使ったパンケーキ」食べた2歳園児がアレルギー症状　救急搬送　仙台**

**11/30(木) 17:21配信　tbc東北放送　宮城県仙台市**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/0e048ad6433bf4959e781d603180cef603a6cb51>

**■有名会社の麻辣湯からコウモリとみられる異質物…中国でまた食品衛生問題**

**11/30(木) 16:11配信　中央日報日本語版**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/1dce6ef92c23ff3375b69d64cca7d7e0d0ad4db1>

**■【感染症ニュース】溶連菌感染症過去最大レベルに　専門医「更に増加の可能性ある」　お子さんの体調に不安を感じたら医療機関受診を**

**11/29(水) 15:00配信　感染症・予防接種ナビ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/bec76a5379feda930714515382a7555b5a2075e1>

**■梅毒患者１万３２５１人、３年連続で最多更新…妊婦からうつった赤ちゃん３５人**

**2023/11/29 13:08　読売新聞オンライン**

<https://www.yomiuri.co.jp/medical/20231129-OYT1T50111/>

**■先天梅毒の子供増加、死産・流産の恐れも　専門家「妊娠前の検査、早期治療を」**

**11/28(火) 14:30配信　産経新聞**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/dec1a101a9ab9bfcc36e06e0de971bb0ed1d19bc>

**■【感染症アラート・本格的な流行】咽頭結膜熱、インフルエンザ(季節性)など4つ**

**11/28(火) 14:27配信　感染症・予防接種ナビ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f97e5cf994ed772fdf5eb4b93e76bf5415fd2681>

**■国内初、乳児用のRSウイルスワクチン承認へ - 薬食審・部会で了承**

**11/28(火) 13:00配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/04286754df62f712022bde91a37e7b66f0d79271>

**■韓国・仁川国際空港着の旅客機2割以上から大腸菌など検出　手洗い徹底呼びかけ**

**11/28(火) 12:02配信　日テレNEWS NNN**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a215ff705b26a6196b7bba2ba7018b1d0d095669>

**仁川国際空港到着便、222便中49便から食中毒菌を検出**

**11/28(火) 10:05配信　朝鮮日報日本語版**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d28a18a555cac1cc397f3d82704148fe7b03d271>

**■「死亡誘発」メキシコ産メロン、韓国食品医薬品安全処「輸入されたことはない」**

**11/28(火) 7:11配信　中央日報日本語版**

**サルモネラ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/47a014605f8d02bd2b6dc28e55fda03f848e1fbb>

**米 メロンで食中毒、2人死亡 サルモネラ菌が検出**

**11/27(月) 11:22配信　ABEMA TIMES**

**サルモネラ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/741ca5d0c684e54e7e81297b11346c7b45323c30>

**米　メロンで食中毒2人死亡 サルモネラ菌を検出**

**11/27(月) 7:49配信　テレビ朝日系（ANN）**

**サルモネラ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/2e4b33a5f9bec4ee575afe44fa54f69639c4494f>

**米国・カナダでメロンを食べて３人死亡…米ＣＤＣ、リコールの対象となったブランド公開**

**11/27(月) 6:55配信　中央日報日本語版**

**サルモネラ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d28b521b37449ec197fc8517d2cafd13f4c814d4>

**■青森 八戸 弁当食中毒問題 食品の保存適切に行わず**

**11月27日　17時48分　青森 NEWS WEB　青森県八戸市**

**黄色ブドウ球菌・セレウス菌**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/aomori/20231127/6080021208.html>

**■花粉症薬、長期処方やリフィル活用を呼び掛け - 厚労省**

**11/27(月) 13:55配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/986c75efeab4cbf049d626c3cebb679705717587>

**■子どもの呼吸器疾患増加、「新型病原体ではない」と中国当局**

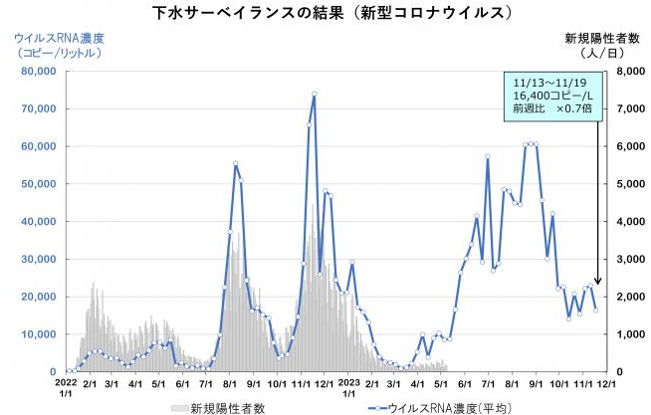
**11/24(金) 14:45配信　CNN.co.jp**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/79d68cecd88163c80c271470101bc261a2413ba3>

**■下水サーベイランス　2023/11/21　北海道札幌市**

<https://www.city.sapporo.jp/gesui/surveillance.html>

　新型コロナウイルス

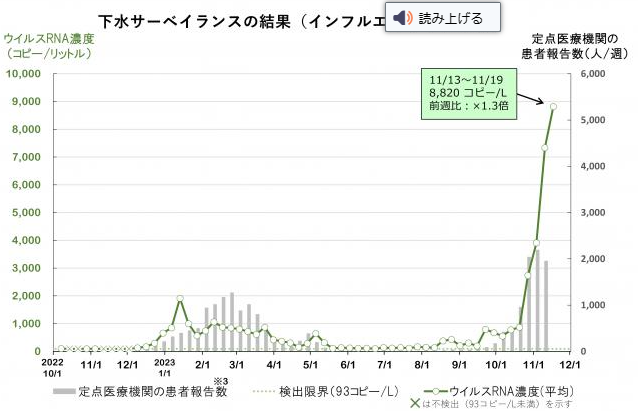


テーブル

自動的に生成された説明

ウイルス濃度は前週から減少しましたが高い水準を継続しており、今後の動向に注意が必要です。

インフルエンザウイルス



テーブル

自動的に生成された説明

ウイルス濃度は4週連続で大幅に増加しており、更なる感染拡大に警戒が必要です。